

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

事業名	部局	定款事業	チェックポイント			期日	場所	対象者	参加人数	広報活動	内容
(1) 理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に関する											
研究推進相談会	研究推進部	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成27年6月14日	東京医科歯科大学	理学療法士 うち都士会員	8名 8名	都士会 ニュース	【開催内容】理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的に、第34回東京都理学療法学会(於：東京医科歯科大学、6月14日開催)にて研究推進相談ブースを設け、理学療法研究に関する相談に対して助言を行った。臨床経験2年目から10年目以上の理学療法士8名が相談ブースに訪れた。主に具体的な研究計画や今後の展望についての相談、統計処理についての相談、研究助成事業の相談があった。
2015国際福祉機器展	渉外部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	共催事業	平成27年10月7日～9日	東京ビッグサイト	一般都民 理学療法士 うち都士会員	119,075名 40名	都士会HP 都士会 ニュース	・2015国際福祉機器展 理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的に医療福祉に関係する不特定多数が参集する展示会で、展示、相談会、講座などを行った。今年の第42回展示会には、出展者522社が出展し、全3日間の来場者は119,075名にも及んだ。連日H.C.R.セミナーが開催されたほか、今年度も出展社セミナーの1時間枠も申請が通り、腰痛予防を視点においた介助法の内容で多くの来場者に足を運んでいただいた。出展ブース内においても、理学療法士の視点から「移動」についてテーマを掲げプレゼンテーションを行い、連日多くの参加者でにぎわった。
診療報酬、介護報酬に関する相談、助言	医療報酬部	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	杏林大学医学部 附属病院	理学療法士 うち都士会員	多数	都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的に診療報酬改定に関する情報をホームページに掲載し、東京都民や本会会員に向けた情報を発信した。また、診療報酬、介護報酬に関連する質問の相談に医療報酬部員が中心に応じ、東京都民が適切な理学療法またはリハビリテーションが受けられるようにした。
区市町村介護予防事業等理学療法士派遣に関する事業	業務推進部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年10月31日	神津島 開発総合センター	理学療法士 うち都士会員	21名 21名	都士会HP	都民の医療・保健・福祉の増進のため、区市町村介護予防事業等に理学療法士を派遣を行う準備として、参加費無料の研修会を岡村大介氏(聖路加国政病院) 秋保光利氏(三井記念病院) 木下敦史氏(御茶ノ水整形外科機能リハビリテーションクリニック)を講師として迎え実施した。 区市町村別の対応を行うために区市町村理学療法士協会の発足準備として、現在、大田区理学療法士協会のモデルケースの紹介とこれから区市町村理学療法士協会を発足していくための準備方法などの講演が行われた。また、地域交流として各地域の理学療法士が一堂に集し、各区市町村単位で話し合いの場が持たれた有意義な会となった。
区西北ブロック研修会②超高齢社会を支える地域包括ケアシステムの目指すもの	業務推進部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年11月11日	板橋区立グリーンホール	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	6名 1名 62名 61名	都士会HP 都士会 ニュース ご案内郵送	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的に、「超高齢社会を支える地域包括ケアシステムの目指すもの」と題して北区・豊島区・板橋区・練馬区の理学療法士の地域コミュニティーにおける役割と可能性について講演およびパネルディスカッションを行なった。講師は練馬区高齢福祉課の植木氏、パネラーには、ト部先生(大橋病院)、可児先生(竹川病院)、里見先生(長汐病院)、齋藤氏(辻クリニック)が登壇した。参加者には、行政職員や地域包括支援センターの職員も多数参加した。

<p>健康・介護予防イベント</p>	<p>業務推進部</p>	<p>1</p>	<p>33 講座、セミナー、育成</p>	<p>自主事業</p>	<p>共催事業</p>	<p>平成27年9月15日、 10月18日、11月22日</p>	<p>板橋区立グリーンホール としまえん ほくとぴあ</p>	<p>一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員</p>	<p>871名 0名 31名 26名</p>	<p>ご案内郵送 北区広報誌</p>	<p>理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進のため、板橋区健康・介護予防キャンペーンで東京都理学療法士協会のブースを設置し、1) ミニ講座 「介護予防? 何を、どう予防するんだ?」 2) ブースにて 転倒予防相談コーナー「ロコモティブシンドローム」を実施した。 1) ミニ講座 「介護予防? 何を、どう予防するんだ?」 日本理学療法士協会予防理学療法検討特別委員会が制作している資料に沿って行った。聴講者は午前15名、午後21名であった。実際に体操を指導し、積極的に参加していただいた。この講座を目標に時間を合わせて来て頂いた方もいた様子だった。実際に参加していただく事で、参加者自身が介護予防の「当事者」であると感じていただけた事が良かったと感じた。 2) ブース設置 転倒予防相談コーナー「ロコモティブシンドローム」 日本整形外科学会が提唱しているロコモ度テストを行った。テストの参加者は男性8名、女性27名であった。参加者は自立して移動が可能な高齢者で、女性が多かった。テストは立ち上がり、2ステップ、質問紙からなり、結果に合わせて、傾向と対策を説明し、個別に自宅でできる簡単な運動の資料を渡し、説明した。各コーナーには担当者をつけ測定時の転倒予防に配慮した。その際、転倒者はいなかった。参加者からは「痛みがあり、生活に困っている」「思ったより動けなかったので運動しようと思う」等の声が聞かれ、相談窓口の設置や運動の効果などについて情報発信の必要性が感じられた。今回の活動を継続し、今後も多くの方に参加していただくために地域住民の目に触れやすい広報が必要と感じた。 9/15 阿部真也 今野陽一郎 榎戸淳 可児利明 茂内暁子 羽田中賢 堀口正崇 木下崇美 山口智大 10/18 高橋勇貴 矢崎祥一郎 今井正樹 田代美花 伊藤綾 小林潤 榎本洋司 野々山真樹 大城英之 野澤大輔 齋藤弘 赤城圭佑 11/22 木野瀬淳子 田邊由紀江 小川周世 池田香織 五十畑修紀 ト部吉文</p>
<p>理学療法の日 介護予防キャンペーン 西多摩南多摩ブロック</p>	<p>業務推進部</p>	<p>1</p>	<p>38 キャンペーン(〇月間)</p>	<p>自主事業</p>	<p>主催事業</p>	<p>平成27年7月15日</p>	<p>イオンモール日の出 イオンモール</p>	<p>一般都民 理学療法士 うち都士会員</p>	<p>44名 26名 名</p>	<p>都士会HP 都士会 ニュース 会員へのチラシの配布 地域リハビリ支援センターの配布物にチラシを同封 イオンモールでのポスター掲示</p>	<p>都民の医療・保健・福祉の増進を目的に、「理学療法の日」において、日の出町にあるイオンモール日の出専門店街2階 イオンホールにて、介護予防キャンペーンとして「体力測定会」を実施した。イオンホールは270㎡と広い会場であったため、会場内に体力測定として、立ち上がりテスト、2ステップテスト、握力、閉眼片足立ち、開眼片足立ち、30秒椅子立ち上がりテスト(CS-30テスト)、ロコモ25の各ブースを設置し、来場者が理学療法士と共に各ブースを回りながら体力測定を実施した。実施の際には、当日の体調等のチェックを行った後、測定項目を決定し、最後に、運動指導、リハビリ相談を実施した。当日は、44名の来場者があり、「1年に1度くらいは定期的にチェックしたい」「自分がやってよかったので、電話で妻も呼んだ」などの嬉しい感想を頂け、楽しく体力測定会を実施することができた。当日、スタッフとして西多摩南多摩ブロックの10施設26名の理学療法士が運営に従事した。</p>

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

平成27年度北多摩ブロック新人セミナー	業務推進部	1	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年7月11日	社会医学技術学院	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	14名 1名 40名 40名	都士会HP 都士会 ニュース	<p>理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するため、勉強会を開催した。第1部では、「理学療法士が行うリスク管理」をテーマに、血圧の変動のメカニズムから急変時の対応策まで、分かりやすくご講演をいただいた。第2部では、4人の講師それぞれの立場から、「新人セラピストに伝えるリスク管理」をテーマに講演が行われ、共通認識としてリスク管理においても他職種連携の重要性を学んだ。その後、講師・参加者を交えた積極的な意見交換会が開催された。</p> <p>第1部 講義 「理学療法士が行うリスク管理」 —急変を予期すること、急変時にどのような対応をすればよいか— 講師：文京学院大学 保健医療技術学部 理学療法学科 助手・専任講師 加藤太郎先生</p> <p>第2部 シンポジウム 「新人セラピストに伝えるリスク管理」 1. 急性期病院 武蔵野赤十字病院 飯沼優先生 2. 専門病院 国立精神・神経医療研究センター 有明陽佑先生 3. 回復期・通所 小金井太陽病院 柳堀明久先生 4. 在宅LIC訪問看護ステーション 岩崎健児先生</p>
平成27年度北多摩ブロック多職種連携セミナー	業務推進部	1	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年10月10日	東村山市社会福祉協議会 地域活動室	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	4名 27名 5名 5名	都士会HP 東京都作業療法士会 HP、東京都言語聴覚士会HP、東京都介護支援専門員研究協議会HP、パンフレットの配布	<p>理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するため、理学療法士及びその他の医療従事者を対象として、多職種の効率的な連携の構築に関する研修会を開催した。具体的には、多職種連携が重要である地域包括ケアシステムについて、基調講演にて多職種が基本的な知識を学び、その後、グループワークを通じて活発な意見交換が行われた。 内容は以下に記載する。</p> <p>第一部：基調講演「地域包括ケアシステムの多職種の必要性」 講師：川越雅弘氏 国立社会保障・人口問題研究所 第二部：グループディスカッション「地域包括ケアシステムの多職種の必要性」 グループディスカッション 発表・総括</p>
平成27年度北多摩ブロック吸引研修会	業務推進部	1	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年11月10日、17日	社会医学技術学院	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	5名 32名 28名	都士会HP 都士会 ニュース	<p>理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するため、吸引研修会（座学・実技）を開催した。具体的には、地域で働く理学療法士等が気管吸引に必要な知識と技術講習を実施した。</p> <p>1日目（11月10日）：座学 2日目（11月17日）：実技 講師：南雲健吾氏（リハビリ企画合同会社）、寄本恵輔氏（国立精神・神経医療研究センター）、伊東彰氏（武蔵野赤十字病院）、齋藤航（関東リハビリテーション専門学校）、原佳孝氏（武蔵野赤十字病院）、反町拓氏（関東リハビリテーション専門学校）、有明陽佑氏（国立精神・神経医療研究センター）、新田夢美氏（東大和病院）、飯沼優（武蔵野赤十字病院）、柳堀明久氏（小金井太陽病院）</p>

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

平成27年度他施設見学会	業務推進部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年12月14日～平成28年1月22日	整育園、武蔵野赤十字病院、国立精神神経センター	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1名 4名 4名	都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、北多摩地域内にて理学療法士がいる施設の見学会を開催した。都民はじめ、他の病院に勤務している理学療法士に対して他の施設を見学することで見識を深めた。また、施設間交流の一環を担うものとなった。開催施設と担当者を以下に記載する。 <施設説明 担当者> ・平成28年1月18日：整育園 石橋 啓弥 氏 ・平成28年1月20日：武蔵野赤十字病院 伊東 彰 氏 ・平成28年1月20日：国立精神・神経医療研究センター 寄本 恵輔 氏
市区町村介護認定審査委員及び障害認定審査委員の推薦事業	福祉保健局	1	35 相談・助言	委託事業	主催事業	随時	板橋区	理学療法士 うち都士会員	11名 11名	都士会HP	都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するため、市区町村介護認定審査員及び障害認定審査員の派遣依頼が来た市区町村へ適任の理学療法士を選出し、会長の承認及び適任者の承諾を得た上で先方へ推薦状を出した。2年任期で、今年度は板橋区の介護認定審査委員を東京都理学療法士協会から推薦した。理学療法士の専門性を活かし、医療・保健・福祉関係の専門家で構成する介護認定審査員及び障害認定審査員の一員として、今後も医療・保健・福祉の増進に寄与できるよう推薦事業を行った。
市区町村及び公共性のある団体からの保健・福祉関連事業における相談事業	福祉保健局	1	35 相談・助言	委託事業	主催事業	平成27年4月18日、5月2日、6月6日、7月4日、8月1日、9月5日、10月10日、11月28日、12月5日、12月26日、平成28年1月16日、2月13日、3月5日、3月26日	社会医学技術学院 練馬障害者支援ホーム	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	198名 40名 34名 34名	都士会HP 都士会 ニュース	都民及び医療・保健・福祉の増進に寄与するため、都内在住の障害者とその家族の方々を対象に、理学療法に関する相談・助言事業を実施。具体的には、自分で行える運動方法の指導や障害部位の改善方法の提案、介護する家族への介助法指導、家族の健康増進運動アドバイス、集団活動前の体操や、スポーツ活動の安全管理を行う。さらには、レクリエーションや情報交換を行う場を提供し、活動と参加を促す援助をした。同時に、他団体の企画する公益事業に対して、理学療法士の専門的な立場から相談・助言を実施した。
研修会「介護保険領域における卒後教育研修会」	福祉保健局	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年12月20日	中野サンプラザ 研修室5	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1名 2名 50名 39名	都士会HP 都士会 ニュース 都士会主催 研修会等でのちらし配布	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、介護保険制度に関する基礎知識や、実際に行われているリハビリテーションを学ぶための研修会を開催した。理学療法士や作業療法士、言語聴覚士などのリハビリテーション専門職種をはじめ、一般都民の方にも参加いただき、現行制度における各専門職種の役割や今後の展望、連携の必要性などについて、実際に介護保険領域のリハビリテーションに従事されている2名の講師による講演を受けることで、適切で効果的なサービスの提供、都民の医療・保健・福祉の増進への寄与を図った。 講師：医療法人財団逸生会 大橋病院 ト部 義文氏 有限会社 リハビリの風 森 隼人氏
三団体合同訪問リハビリテーション実務者研修会	福祉保健局	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年11月14日～15日	首都医校	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	35名 19名 19名	都士会HP 都士会 ニュース 都のPT士会・OT士会・ST士会それぞれでHP、ニュース等で広報する	都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、在宅で療養する方々の自立を支援し在宅生活の活動性を高め、より自分らしい生活が住み慣れた自宅ですべてできるよう援助する訪問リハビリテーションに従事するPT・OT・STの人材育成のため研修会を実施した。 <研修プログラム> 11月14日(土) ・地域包括ケアについて-今後の見通しなど- 村井 千賀先生 (厚生労働省老健局老人保健課) ・社会資源を活用した訪問リハ終了事例 長谷川 幹先生 (三軒茶屋リハビリテーションクリニック) 11月15日(日) ・「活動・参加」に焦点を当てた訪問リハビリテーションとは? 田代 文子先生 (清瀬リハビリテーション病院) ・グループワーク①、グループワーク② ・討議・まとめ

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

リハビリ相談会 年3回 (6/6, 8/1, 2016/2/6)	成人福祉部	1	35 相談・ 助言	自主 事業	主催 事業	平成27年6月6日 平成27年8月1日 平成28年2月6日	福生市福祉セン ター	一般都民 理学療法士 うち都士会員	10名 3~5名 3~5名	都士会 ニュース 社会福祉協 議会作成の 案内文書 福生市広報	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に資することを 目的として、福生市福祉センターで行なわれた、一般都民向けのリハ ビリ相談会に参加した。各日で日常生活中で感じている不安や、 相談を受け、理学療法士による自主トレーニングの指導、生活指 導や、リハビリの受けられる施設や病院の紹介を行なった。
福祉祭り リハビリ相談コーナー	成人福祉部	1	35 相談・ 助言	自主 事業	共催 事業	平成27年10月4日	福生市福祉セン ター	一般都民 理学療法士 うち都士会員	12名 7名 6名	福祉まつり のパンフ レット、ポ スターへの 記載、市広 報誌掲載 パンフレッ トは福祉セ ンター及び 各保険福祉 機関に配 布。来室し た都民の方 に自由に とっていた だく。	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、 介護や福祉について身近に感じていただくため、福生市福祉セン ターにて「福祉まつり2015」を開催し、当会も共催事業とし てでリハビリ相談会を開催した。 相談件数は男性3名、女性9名の計12名12件であった。 相談者の年齢は40歳代から80歳代まで幅広く、相談内容も運 動器疾患や循環器疾患の活動時での注意点や、日常生活での予防 体操のことまで多岐にわたった。
健康まつりリハビリ相談・ 介護予防体験コーナー	成人福祉部	1	34 体験 活動等 35 相談・ 助言	自主 事業	共催 事業	平成27年11月1日	福生市市営野球 場	一般都民 理学療法士 うち都士会員	128名 20名 20名	健康まつり のパンフ レット・ポ スターへの 記載、市広 報誌への掲 載 健康まつり のパンフ レットは市 役所、市行 政機関及び 各保健福祉 機関に配 布。来室し た都民の方 に自由に とっていた だく	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、 介護や福祉について身近に感じていただくために開催した。福生 市福祉センターにて「福祉まつり2015」が開催し、当会も共 催事業としてでリハビリ相談会を開催した。 当日は朝8時30分集合し、会場設営後、開会式参加。 9時30分より相談業務を開始し15時に終了、現状復帰後解散 した。 福祉まつりに来訪した都民の方々の数は1300人を超え非常に にぎわった。 相談件数は男性3名、女性9名の計12名12件であった。 相談者の年齢は40歳代から80歳代まで幅広く、相談内容も運 動器疾患や循環器疾患の活動時での注意点や、日常生活での予防 体操のことまで多岐にわたった。 また、昨年度から相談員を6名に増やしたことにより、時間も ゆっくりと取ることができて、相談者には満足して帰っていただ いたように思えた。
研修会「介護保険領域における卒後 教育研修会」	介護保険部	1	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年12月20日	中野サンプラザ 研修室5	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1名 2名 50名 39名	都士会HP 都士会 ニュース 都士会主催 研修会等 のちらし配 布	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、 介護保険制度に関する基礎知識や、実際に行われているリハビリ テーションを学ぶための研修会を開催した。理学療法士や作業療 法士、言語聴覚士などのリハビリテーション専門職種をはじめ、 一般都民の方にも参加いただき、現行制度における各専門職種の 役割や今後の展望、連携の必要性などについて、実際に介護保険 領域のリハビリテーションに従事されている2名の講師による講 演を受けることで、適切で効果的なサービスの提供、都民の医 療・保健・福祉の増進への寄与を図った。 講師：医療法人財団逸生会 大橋病院 ト部 義文氏 有限会社 リハビリの風 森 隼人氏

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

研修会「介護保険の基礎知識」	介護保険部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年1月24日	中野サンプラザ 研修室3	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	7名 0名 6名 6名	都士会HP 都士会 ニュース 都士会主催 研修会等での ちらし配布	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、介護保険制度に関する基礎知識や、実際に行われているリハビリテーションを学ぶための研修会を開催した。理学療法士をはじめ、理学療法士養成校の学生など一般都民の方にも参加いただき、現行制度における各専門職種の役割や今後の展望、連携の必要性などについて、実際に介護保険領域のリハビリテーションに従事されている2名の講師による講演を受けることで、適切で効果的なサービスの提供、都民の医療・保健・福祉の増進への寄与を図った。 講師：有限会社 リハビリの風 阿部 洋輔氏 東京総合保健福祉センター 江古田の森 林 涼氏
リハビリ相談会、体操教室、体力測定会（西東京市民まつり健康づくりコーナー）	健康増進部	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成27年11月14日	いこいの森公園 （西東京市）	一般都民 理学療法士 うち都士会員	176名 12名 12名	西東京市報 西東京市HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、医療、介護、予防分野でのリハビリに関する相談会を実施した。相談内容については脳血管疾患、運動器疾患や循環器疾患の活動時での注意点や、様々な疾患に対する日常生活からの予防方法についてまで多岐にわたった。 また、上記相談会に合わせて、セラバンドを用いたリハビリ体操教室や家庭用ゲーム機を用いたバランス能力などの体力測定も実施し、大いに賑わうことができた。
公開講座「マスターズ陸上金メダリストから学ぶ健康の秘訣」	健康増進部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年3月26日	社会医学技術学院	一般都民	40名	都士会HP チラシ	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、マスターズ陸上で活躍中の高原氏を講師として招きこれまでの経験を踏まえつつ健康の秘訣について一般都民に御講演頂いた。またアスリートとしてのこれまでの活動の中で理学療法士との関わりも多数あったとのことなので、そのエピソードについても語って頂いた。 ○開会の辞（中村東京都保健福祉局長） ○講演「マスターズ陸上金メダリストから学ぶ健康の秘訣」 講師：高原 良祐氏 ○質疑応答
リハマップ作成	広報局	1	36 調査・資料収集	委託事業	共催事業	平成27年10月14日	ホームページ上	一般都民 理学療法士 うち都士会員	不特定多数の閲覧者	都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、東京都内に理学療法士が常駐している医療施設・訪問事務所の情報を不特定多数の方々が閲覧できるようホームページ上に作成し掲載した。また、同内容の情報を紙面上で確認できるよう雑誌として作成し配布した。
都士会ホームページ維持管理	外宣部	1	35 相談・助言	委託事業	共催事業	平成27年4月1日～平成28年3月31日	ホームページ上	一般都民 理学療法士	140707件の閲覧	都士会HP	都民の医療・保健・福祉の増進に寄与することを目的に、本会ホームページの管理運営を行った。外部委託によりデザイン、使用方法の変更を実施し都民並びに会員において使用しやすいサイトを作成した。
国際福祉機器展における相談会の開催	外宣部	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成27年10月7日～9日	東京ビッグサイト	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	119,075名 40名	都士会HP 当日チラシ	都民の方の医療・保健・福祉の増進に寄与することを目的に、国際医療福祉機器展において相談・助言会を開催した。医療福祉に関係する不特定多数が参集する展示会で、展示、相談会、講座などを行う。全3日間の来場者は119,075名にも及んだ。国際福祉機器展開催中に出展ブース内において、本会の理学療法士が一般参加者からのリハビリテーションに関する個別相談会を実施した。具体的には運動器疾患や脳血管疾患、循環器疾患に対するリハビリテーションについての相談や日常生活における予防などの相談が寄せられた。

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

理学療法フェスタ2015	外宣部	1	38 キャンペーン(○月間)	自主事業	主催事業	平成27年8月1日、2日	東京都庁45階南展望室	一般都民 理学療法士 うち都士会員	各日500名 各日10名 各日10名	都士会HP 都士会 ニュース	<p>本事業は都民の方の医療・保健・福祉の増進に寄与することを目的に開催した。</p> <p>東京都の職員の方々の協力や多くの東京都理学療法士会の方に参加頂き無事に行うことができました。</p> <p>今年は疾患に関する情報や疾患に対する理学療法士の関わりを掲載したもののだけでなく、具体的な体操や運動指導内容についても掲出しました。そして新たに自治体と理学療法士の関わり方を掲載したものを展示しました。社会に対する理学療法士の役割や活躍する場面を紹介することができたと考えます。</p> <p>開催中の出来事としては、現在リハビリを受けているという方や腰の痛みに悩まされている方から展示内容にある体操や運動についての質問がありました。そして観光として訪れた方の中には、現在理学療法士として活躍されている方もあり、東京都理学療法士会がこのような活動をしていることを周知することができました。</p> <p>今後の改善点としては、理学療法士が社会と関わる場面として自治体やスポーツイベントでの理学療法士のボランティア活動などを掲出したことで、より多くの方々に展示を見てもらえたと考えます。このことから、様々な分野での活動報告を展示して行きたいと考えます。またより多くの方に周知して頂くために、開催中の配布資料などを充実させていきたいと考えます。</p>
看護フェスタ2015	外宣部	1	35 相談・助言	委託事業	共催事業	平成27年5月16日	新宿駅西口広場	一般都民 理学療法士 うち都士会員	1800名 4名 名	東京都庁HP 東京都看護協会HP	<p>都民の医療・保健・福祉の増進に寄与することを目的に、東京都看護協会と共に新宿西口にて看護フェスタ2015に参加。公認団体として参加した。理学療法士部門としては、リハビリ相談と健康体操を中心に実施。</p> <p>相談も運動器疾患や脳血管疾患などの疾患に対する相談から、日常生活において予防することなど、非常に多くあり充実した時間となった。</p>
各種体験活動における宣伝活動	外宣部	1	34 体験活動等	自主事業	主催事業	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	社会医学技術学院 緑成会病院	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	不特定多数	都士会HP 当日ちらし	<p>理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、「福祉まつり2015」、「介護のコト体験フェア」、「看護フェスタ2015」へ参加し、具体的な宣伝活動としてはイベントへの法被の送付、チラシの作、都市会HP上での宣伝を実施した。加えて東京都理学療法士協会のリーフレットも個数でなくなりつつあるため、内容とデザインの変更を含めて新規に作成を行った。</p>
リハマップ作成	外宣部	1	35 相談・助言	委託事業	共催事業	平成27年10月14日	ホームページ上	一般都民 理学療法士 うち都士会員	140707件の閲覧	都士会HP	<p>理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、東京都内と区外でのリハビリテーションマップと冊子の作成を行った。また、ホームページ上でも自由に閲覧でき且つプリントアウト出来る様に作成した。また電子書籍化も実施した。今後も定期的に更新を行い作成する。</p>
全国学童・少年軟式野球大会のメディカルサポート支援事業	スポーツイベントサポート部	1	35 相談・助言	委託事業	共催事業	平成27年8月10日～12日	太田スタジアム 駒場球場	一般都民 理学療法士 うち都士会員	各日80～160名 各日6～12名 各日2～4名	都士会HP	<p>理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、平成27年8月に東京都で行われた全国軟式野球連盟主催全国大会(学童・少年)のメディカルサポートを行った。東京、神奈川県、静岡の3都県士会のメンバーの協力のもと、試合中の外傷に対する処置、テーピング、試合後の投手へのアイシングと全選手におけるクーリングダウンストレッチを行った。ストレッチに関しては、成長期スポーツ障害の予防に対する啓蒙活動を含めて実施した。</p>

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

東京都のスポーツ場面における理学療法を通じたサポート活動の啓蒙	国際競技大会・スポーツ理学療法推進部	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成27年4月11日 平成27年11月19日	社会医学技術学院	理学療法士 うち都士会員	25名 25名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的とした活動を行った。 都内におけるスポーツ活動内容を把握し、2020年に向けた国際大会への準備、障害者スポーツへの関わり、一般都民スポーツ活動への対応等について、より効率的な方法を作成するために、東京都の政策、日本理学療法士協会、他団体からの情報を基にした検討会議を開催した。4月11日はスポーツ局に係る理学療法士17名、11月19日は各部門の責任者の理学療法士8名での情報収集・分析を行った。 その分析結果を基に各部門での活動が進められた。 この内容は都士会ニュースにて報告した。
オリンピック・パラリンピックに関わる人材の育成事業	国際競技大会・スポーツ理学療法推進部	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年8月28日 平成28年2月20日	東京医科歯科大学 ThreeEightNineMITAKA	理学療法士 うち都士会員	148名 143名	都士会HP 国際競技大会・スポーツ理学療法推進部専用メールより連絡先登録者に告知	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、また2020年東京五輪・パラリンピック開催に向けた人材育成事業の1つとして、多くの都民、理学療法士等に向けた研修会を8月28日に東京医科歯科大学にて研修会を開催した。研修会前には担当者6名で開催準備のための打ち合わせを実施した。当日は講師として板倉（日本女子体育大学）、原田（社会医学技術学院）、小川（日本理学療法士協会）に担当してもらい、国際大会での対応、これからの取り組みについて講義がなされた。参加者は104名であった。この内容については、都士会HPを中心に開催告知をしたうえで、研修会結果については都士会ニュースにて報告した。
表彰対象者リスト資料作成	表彰審査委員会	1	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	東京慈恵会医科大学附属病院	理学療法士	330名	推薦者の決定後、都士会HPで公開する。	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的に理学療法士はリハビリテーション専門職とし過疎地医療・小児医療・社会福祉などに重要な役割を担っているこの業務を広く都民に啓蒙するため、国・都または各種団体が主催する表彰事業にエントリーするための調査・資料収集を行った。具体的な人選については、本会会員暦25年以上の理学療法士を中心に広く推薦する予定である。
都民の声委員会	都民の声委員会	1	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成27年10月6日 平成27年11月21日 平成28年1月12日 平成28年3月11日	月のうさぎ	理学療法士 うち都士会員	各日9名 各日9名	介護予防キャンペーンの参加	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に関する、都民からの相談について、相談内容への返答を検討し、助言。 例えば、会員からの訪問リハビリテーションに関する相談（主に自費での診療について）に対し、日本理学療法士協会からの通達に基づいて実施することを促す内容を助言した。 都民からの相談を受けやすくするための今後の活動内容について検討。
理学療法に関する相談・助言会	理学療法地位向上委員会	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年4月8日、5月20日、7月6日、9月24日	東京都理学療法士協会事務所	理学療法士 うち都士会員	76名 56名	都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、「理学療法に関する相談、助言会」を開催するにあたり、相談助言者の育成のための接遇研修会を7月6日、9月24日の二回に渡り講師に森島 健先生を迎え開催した。相談助言者となる理学療法士の接遇能力の向上を図った。
理学療法に関する相談・助言会	理学療法地位向上委員会	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年1月15日、2月11日、2月25日	東京都理学療法士協会事務所	一般都民 理学療法士 うち都士会員	85名 39名 39名	都士会HP	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進を目的として、平成27年2月11日に「理学療法に関する相談、助言会」を開催した。講師に豊田 輝 先生を迎え、5名の理学療法士を相談・助言者とし、電話と事務所内対応という形をとり、都民へ専門的な立場から助言を行った。
第35回東京都理学療法学会大会 都民公開講座	次年度学術大会準備委員会	1	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年3月2日	多摩丘陵病院 他	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	5000部	都士会HP 都士会 ニュース 研修会等でのチラシの配布 ケアマネ連絡等でのチラシの配布	都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するため、第35回東京都理学療法学会大会内で都民に対する公開講座「認知症の正しい理解と対応」をテーマに（医）光生会 南多摩医療圏認知症疾患医療センター平川病院（医）博朋会 神経科精神科ひらかわクリニック 理事長 平川 博之 先生に後援して頂く。その公開講座の開催案内チラシを作成し、ケアマネ連絡会、都士会研修会等へ配布した。

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

都士会学会時の一般公開講座に関する事業	公開講座準備委員会	1	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年6月14日	東京医科歯科大学	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	88名 6名 438名 424名	都士会HP 都士会ニュース ポスター	理学療法を通じた都民の医療・保健・福祉の増進に資するため、オリンピック金メダリストである古賀稔彦氏を講師に招き、公開講座を開催した。具体的には、古賀氏のこれまでの大怪我経験を通じて健康やスポーツ競技における理学療法士の必要性についてご講演を頂いた。また、広く一般に広報し、多くの都民にご参加頂ける機会となるように努めた。その他、東京オリンピックパラリンピックに向けて、理学療法士が社会に果たせる役割を明確にし活動するため、パラリンピック出場経験を持つ義足ランナー等を講師に迎え、理学療法士に求めることについてご提言を戴いた。
生活期における3団体共通評価表作成(通所版)	生活期共通評価表作成委員会	1	36調査・資料収集	自主事業	主催事業	通年	都内各施設	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	100部	都士会HP 都士会ニュース	都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するため、生活期共通評価表(通所版)を作成している。東京都作業療法士会ならびに東京都言語聴覚士会とも複数回にわたり協議を行い、国の示すりハ計画書(アセスメント)をりハ計画書に展開する際に活用できる補足様式を作成することで合意に至り作業に着手している。平成28年度内の完成を目指す。
生活期における3団体共通評価表(訪問版)のモニタリング	生活期共通評価表作成委員会	1	36調査・資料収集	自主事業	主催事業	通年	都内各施設	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	約8000名	都士会HP 都士会ニュース	都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するため、第50回日本理学療法士学会(6/7)にて『東京都三士会共通「効果の見える生活期共通評価表(訪問)」』についてポスター発表を行い会場より意見を聴取した。訪問版評価表を用いた事例を収集するために、東京都作業療法士会・東京都言語聴覚士会と協力し都内訪問りハ事業所約400ヵ所へ事例提供依頼を行った。
生活期共通評価表(訪問版)研修会	生活期共通評価表作成委員会	1	33講座、セミナー、育成	自主事業	共催事業	平成27年9月6日 平成28年2月20日	首都医校	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	37名 15名 14名	都士会HP 東京都作業療法士会HP 東京都言語聴覚士会HP	都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するため、東京都三士会共通「効果の見える生活期リハビリテーション評価表(訪問版)」(略:都三士会訪問りハ評価表)の合同研修会を2回実施した。東京都理学療法士協会・東京都作業療法士会・東京都言語聴覚士会より担当分野ごとに生活期における評価の視点と評価表の活用方法について南雲 健吾先生、中本 久之先生、津村 恒平先生を講師として招き、講義いただいた。三士会合同研修会会議 6/22 8/14 11/19 1/12
地域包括ケアシステムに関するリーダー制度・導入研修及び士会指定事業	地域包括ケアシステム推進委員会	1	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年4月25日 平成27年7月26日 平成27年11月1日 平成28年2月28日	社会医学技術学院 臨床福祉専門学校 首都医校	理学療法士 うち都士会員	188名 166名	都士会HP 前回の研修会で広報	都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するため、地域社会で活躍できる人材育成を目的に、研修会や士会指定事業を行った。地域包括ケアシステムの理解を深め、迫りくる超高齢社会での地域リハビリテーションの担い手となり、個別ケア会議や介護予防事業、地域リハビリテーション支援事業などにおいて、国民の健康増進、要介護状態になったとしても、維持・改善が出来るように働きかけることが出来る人材を育成する。リーダー制度の「地域包括ケア推進リーダー」導入研修2回、「介護予防推進リーダー」導入研修2回実施した。昨年度も実施しているが、地域包括ケアシステムが言われ始めて時間の経過もあるが、ケア会議の演習や介護予防事業計画作成の演習では、理解度が深まり良い研修が出来ている。受講者から、実際に地域で活動するためにどうしたら良いか、積極的に考えている人が多く、今後の地域活動へ向けて連携していく準備が出来てきた。 講師名:窪田 幸生、田代 文子、青木 慶司、森 隼人、山ノ内聖一、武市 裕貴、山田 拓実

(2) 理学療法における学術及び科学技術の振興に資する

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

研究推進相談会	学術局	2	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成27年6月14日	東京医科歯科大学	理学療法士 うち都士会員	8名 8名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法における学術及び科学技術の振興に資するための研究相談会 【開催内容】 第34回東京都理学療法学会（於：東京医科歯科大学、6月14日開催）にて研究推進相談ブースを設け、理学療法研究に関する相談に対して助言を行った。臨床経験2年目から10年目以上の理学療法士8名が相談ブースに訪れた。主に具体的な研究計画や今後の展望についての相談、統計処理についての相談、研究助成事業の相談があった。
研究機器貸し出し助成	研究推進部	2	43 助成（応募型）	自主事業	主催事業	平成27年6月30日	慶應義塾大学病院	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1名 4名 4名	都士会HP 都士会 ニュース	【開催内容】研究助成公募によって申請のあった研究計画について、選考委員会及び倫理審査委員会を設置し、選考会議で申請内容を匿名化したうえで審議した。委員会役員は理事会から委任された会員及び委嘱された医師などの学識経験者で構成した。本選考会議の結果を受け理事会にて最終的に助成採択を決定し、助成交付を行った。第1回募集で3件の募集に対し3件、追加募集で2件の申請に対し2件の助成交付を行った。なお、本助成事業の募集については本会ホームページやニュースにて広く周知し採択結果については、都士会ホームページにて掲載した。又、助成研究の成果については、「理学療法東京」に掲載予定である。
第4回 区西南部・区西部ブロック学術集会	業務推進部	2	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年11月8日	首都医校	一般都民 理学療法士 うち都士会員	9名 68名 67名	都士会HP 都士会 ニュース ポスターを関係各所に配布	理学療法士の学術及び科学技術の復興に資する事業として実施した。当ブロックは会員数が1200名を超え、まだ経験の浅いものが大半を占める。その中で、講演参加、研究発表の場を作ることは非常に重要で、都民の医療、保健、福祉の質の向上に資するものである。このような機会を設け研鑽し諸先輩からの意見を聞ける貴重な場であるため、今年度も同様に開催する事が大切である。今年度は首都医校をお借りして実施したこともあり、学生の参加も見られた。また、シンポジウムでは回復期、老人保健施設、通所訪問など、いくつかの категорияに分かれ、参加者とディスカッションを行い、活発な議論が行われた。参加者からは地域のリハ資源の再認識になり、より地域に対しての情報を取るこの大切さを実感したなどの意見をいただいた。特別講演では河北リハビリテーション病院の宮村紘平医師より「Narrative Based Medicineに基づいたリハアプローチ」というテーマで、実際の体験をもとにリハビリテーションの真髄に沿った貴重な講演を頂いた。
区西北部ブロック学術集会	業務推進部	2	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年2月14日	帝京平成大学	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	21名 3名 108名 103名	都士会HP 都士会 ニュース ポスター郵送	理学療法における学術及び科学技術の振興に資する事業として学術集会を開催。日本理学療法士協会の半田会長と野崎主任ををお招きして講演を行なった。又、東京都理学療法士協会の森島会長の御講演では、若手理学療法士への期待と提案をグループワークも交えて行なっていただいた。当ブロックが年間を通して行なってきた研究サポートも30を超える演題発表にて成果をなしとげたと思われる。
平成27年度第6回北多摩ブロック学術集会	業務推進部	2	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年2月21日	国立精神・神経医療研究センター	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	8名 10名 101名 96名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法における学術及び科学技術の振興に寄与するため、学術集会を開催した。参加者は、理学療法士だけでなく他職種や一般都民も含めて119名であった。一般演題発表と、特別講演として「今、医療組織に必要なレジリエンスとは？～多職種連携を見つめ直す～」をテーマに埼玉成恵会病院外科部長の清水広久先生に講演いただいた。今年度より子育て応援特別企画としてフリースペース・授乳スペースの設置、ベビーカーの置き場所の用意、講演・発表会場には出入りしやすい場所に専用席を設け、4名の利用があった。

国際大会における理学療法士のメディカルサポート活動の視察	国際競技大会・スポーツ理学療法推進部	2	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成27年7月10日～12日	韓国光州	理学療法士 うち都士会員	3名 3名	都士会 ニュース	理学療法における学術及び科学技術の振興に資するため、また2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた準備として、国際大会を含めたスポーツイベントにおけるサポート活動の実態を調査するための派遣事業を行った。 2015年7月に韓国光州（クワンジュ）で開催されたユニバーシアード大会に下記日程で理学療法士を派遣した。 視察内容は国際総合競技大会におけるメディカルサービスの内容について選手村総合診療所視察を中心に行い情報収集にあたった。 視察メンバー：原田部員、斎藤理事、新堀部員（3名） 視察内容：①選手村の様子とインフォメーションセンター等各種サービスの役割についての情報収集。 ②総合診療所・メディカルサポート部門の運営方法の情報収集や理学療法部門に関わる部門の視察。 この視察により、参加選手等が十分なパフォーマンスを発揮できるようなサポート体制を整えることの必要性、必然性が明らかになった。この内容については都士会ニュースにて報告した。
第50回日本理学療法学会活動報告	災害対策委員会	2	33 講座、セミナー、育成	自主事業	共催事業	平成27年6月5日	東京国際フォーラム	一般都民 理学療法士 うち都士会員	300名	都士会HP	理学療法士の知識・技術の向上を目的とし、災害発生時の対策方法を活動報告と併せ、第50回日本理学療法学会にて報告を行った。報告内容は下記の通り。 【活動報告内容】 災害対策委員会（以下当委員会）は2011年9月に発足。東日本大震災被災地域の理学療法士（以下PT）及び厚生労働省医政局災害医療対策室DMAT事務局から医師を招き①災害医療全般について②PTとしての活動報告③理学療法県士会の取り組みや問題点について講演を頂いた。また、一時救命処置に関する知識・技術の向上を目的としたBasic Life Support資格取得研修会を開催した。さらに当協会員の安否と被災状況及び地域の情報を集約する為にインターネットを利用した安否確認システムを構築した。また、被災地域でPTがより迅速且つ適材適所に貢献することが出来るように災害リハビリテーション（以下災害リハ）コーディネーター育成するため準備を進めている。また地域内での連携が迅速に取れるように区単位でのPT顔合わせ会などを始めている。その他役所や東日本大震災リハビリテーション支援関連10団体などが主催する研修会に参加している。
第34回東京都理学療法学会	第34回都士会学会準備委員会	2	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年6月14日	東京医科歯科大学 湯島キャンパス	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	88名 6名 438名 424名	都士会HP 都士会 ニュース ポスター掲示	理学療法士の学術ならびに臨床的技術の向上および理学療法士の人材育成を図ることを目的として、理学療法に関する基礎研究・臨床研究の成果についての学会大会を開催した。加えて、韓国ソウル市理学療法士協会の会員の講演・演題発表を行い、ソウル市と東京都における理学療法士の役割について考える企画を実施した。また、会員のみならず都民をはじめ広く参加者を募り、都民公開講座やシンポジウムを開催し、3名の講師と5名のシンポジストをお招きし、開催した。参加者に対し医療・保健・福祉に関する知識を提供し、都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するとともに理学療法法の普及を図った。 講師名 ソウル ブクブ病院 イジュンヨン先生 国立社会保障・人口問題研究所 社会保障基礎理論研究部 部長 川越 雅弘 先生 古賀塾 塾長 古賀 稔彦 先生 シンポジスト 鉄道弘済会・義肢装具サポートセンター ヘルスエンジェルス代表 臼井 二美男 先生 横浜市脳卒中・脊椎センター リハビリテーション部 駒場 佳世子 先生 日本パラリピアンズ協会副会長 大日方 邦子 先生 目黒区役所 ヘルスエンジェルス 大西 瞳 先生 株式会社プーマジャパン 鈴木 徹 先生

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

第35回東京都理学療法学会	次年度学術大会準備委員会	2	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年3月1日	多摩リハビリテーション学院 他	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	35名	都士会HP 都士会 ニュース 研修会等でのチラシの配布	理学療法の学術及び科学技術の振興のために、理学療法士の学術的および臨床面の強化と研磨するため学術大会を開催する。開催準備のため理学療法士より一般演題を募り、準備委員会が指定した査読者の結果を踏まえ、一般演題発表の選考を実施した。結果、発表演題数は口述発表40題、ポスター演題8題を採択した。
---------------	--------------	---	------------------	------	------	-----------	--------------------	-------------------------------------	-----	--------------------------------------	---

(3) 地域社会の健全な発展を目的とする

平成27年度 島しょブロック視察事業	業務推進部	3	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成27年10月31日	神津島	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	10名 3名 3名 3名	都士会HP 都士会 ニュース	地域社会の健全な発展に資するため、東京都理学療法士協会の島しょ地域における理学療法士の活動状況を調査した。今回の視察地は常勤理学療法士のいない島である神津島の視察を行い、神津島における理学療法の需要調査および今後の関わりを念頭に島で開催された「健康・福祉まつり」に参加した。会場では個別相談室も設け、大勢の町民が相談に訪れ、相談に乗った。また、島の医療従事者や役場の方との情報交換会も実施され、急速に理学療法士の需要が高まっているとの声が聞かれた。本島のリハビリテーション病院に入院しても島民はすぐに島に帰ってきてしまう現状があり、リハビリテーションが不十分になることが多々あるとのことだった。現在は島外の理学療法士による訪問リハビリテーションが月2回（2名：1日訪問4件）実施されているのみとなっていることがわかり、理学療法の需要と供給量の少なさを感じた。今後のブロック活動、協会活動を通じて連絡を取り合い継続した情報交換および具体的なサポート体制を検討していくための重要な視察となった。
介護のコト体験フェア	高齢者福祉部	3	38 キャンペーン（〇月間）	委託事業	共催事業	平成27年11月22日	東京国際フォーラム 展示ホール2	一般都民 理学療法士 うち都士会員	191名 8名	都士会HP 東京都福祉人材センターHP、一般新聞、ちらし・ポスター配布	本事業は地域社会の健全な発展を目的に、介護や福祉の仕事の魅力を知っていただくとともに、身近な介護に役立つ情報や知識を現場のプロが提供することで、誰もが楽しみながら「介護を体験」することを目的に開催されるイベントであり、その協力として参加しました。相談内容では、自身の腰痛・肩痛等の相談、ご家族のリハビリ相談、PTになるためには・・・等の内容が多くあげられていました。理学療法士による体操実演では終了時間間際の開催でしたが、多くの方に足を運んで頂き、一緒に体操を行うことができました。今回より地域包括ケア推進リーダー・介護予防リーダーの指定事業として、公募にて会員3名のお手伝いの中、行いました。本事業により、理学療法の専門的な知識・技能を高年齢社会を支える都民の方に情報発信できたと考えます。

理学療法フェスタ2015	広報局	3	38 キャンペーン(○ ○月 間)	自主 事業	主催 事業	平成27年8月1日、2日	東京都庁45階南 展望室	一般都民 理学療法士 うち都士会員	各日500名 各日10名 各日10名	都士会HP 都士会 ニュース	<p>本事業は都民の方の医療・保健・福祉の増進に寄与することを目的に開催した。</p> <p>東京都の職員の方々の協力や多くの東京都理学療法士会の方に参加頂き無事に行うことができました。</p> <p>今年は疾患に関する情報や疾患に対する理学療法士の関わりを掲載したものだけでなく、具体的な体操や運動指導内容についても掲出しました。そして新たに自治体と理学療法士の関わり方を掲載したものを展示しました。社会に対する理学療法士の役割や活躍する場面を紹介することができたと考えます。</p> <p>開催中の出来事としては、現在リハビリを受けているという方や腰の痛みに悩まされている方から展示内容にある体操や運動についての質問がありました。そして観光として訪れた方の中には、現在理学療法士として活躍されている方もあり、東京都理学療法士会がこのような活動をしていることを周知することができました。</p> <p>今後の改善点としては、理学療法士が社会と関わる場面として自治体やスポーツイベントでの理学療法士のボランティア活動などを掲出したことで、より多くの方々に展示を見てもらえたと考えます。このことから、様々な分野での活動報告を展示して行きたいと考えます。またより多くの方に周知して頂くために、開催中の配布資料などを充実させていきたいと考えます。</p>
都民の各種スポーツ活動のメディカルサポート支援事業	スポーツ イベント サポート 部	3	35 相談・ 助言	自主 事業	主催 事業	平成27年6月14日 9月27日	江東区東砂ス ポーツセンター	一般都民 理学療法士 うち都士会員	107名 15名 15名	都士会HP	<p>地域社会の健全な発展を目的とし、東京都で6月14日と9月27日に開催されたアジア国際総合空手道選手権大会および関東総合空手道選手権大会においてストレッチなどのコンディショニングサポートのためそれぞれ理学療法士を7名、8名派遣した。コンディショニング利用者はそれぞれ37名、70名であった。また、それぞれコンディショニング時にストレッチなどの管理について助言した。</p>
全国学童・少年軟式野球大会のメディカルサポート支援事業	スポーツ イベント サポート 部	3	35 相談・ 助言	委託 事業	共催 事業	平成27年8月10日～12 日	太田スタジアム 駒場球場	一般都民 理学療法士 うち都士会員	各日80～160名 各日6～12名 各日2～4名	都士会HP	<p>地域社会の健全な発展を目的とし、平成27年8月に東京都で行われた全国軟式野球連盟主催全国大会(学童・少年)のメディカルサポートを行った。東京、神奈川、静岡の3都県士会のメンバーの協力のもと、試合中の外傷に対する処置、テーピング、試合後の投手へのアイシングと全選手におけるクーリングダウンストレッチを行った。ストレッチに関しては、成長期スポーツ障害の予防に対する啓蒙活動を含めて実施した。</p>
災害リハビリテーション啓発研修会	災害対策 委員会	3	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成28年2月18日	首都医校 コ クーンタワー21 階 212教室	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	13名 17名 77名 60名	都士会HP	<p>地域社会の健全な発展を目的とし、災害時に迅速に対応するための知識を深めるため、講師に東京都議会議員の早坂よしひろ先生に御講義頂いた。</p> <p>講義内容は以下の通り</p> <p>①東京都の防災対策について 東日本大震災・阪神・淡路大震災・関東大震災死因を分析解説して頂いた。東日本大震災は津波による溺死・阪神・淡路大震災では建物や家具の倒壊及び転棟による圧死や窒息死・関東大震災では火災における死が主な原因であった。それらの死因の対策方法や、首都直下型地震の被害予測・対策方法を講演して頂いた。</p> <p>②東京オリンピックとパラリンピックの現状について 内容：レガシー(遺産)というキーワードを使って、過去開催されたオリンピックで築かれた無形・有形・ポジティブ・ネガティブ・計画的・偶発的等、様々なレガシーを解説して頂いた。また、2020年に開催される東京オリンピックとパラリンピックで築こうとしているレガシーを具体例に挙げて説明して頂いた。</p>

平成27年度千葉県理学療法士学会での活動報告発表及び調査・資料収集	災害対策委員会	3	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成28年3月27日	君津中央病院附属看護学校	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	0名 0名 16名 1名	都士会HP	<p>地域社会の健全な発展を目的とし、近隣（関東圏）における理学療法災害対策について調査を実施した。</p> <p>【調査内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都の安否確認システムについて 近隣県でも注目している本会のシステムだが、更なる参加率を上げるため対策について情報提供を求めた。費用面について、実施会員について等運用面での質問が多く挙がった。 ・行政との連携について 行政と連携を図るために、他県における自治体との連携方法について調査した。 ・地域JRATについて リハ医とPT、OT、STで進めてNs、CM等の団体に協力要請をして進めている。医師会の連携を図るために他県での活動状況について調査した。 これらの情報は、具体的な事業展開の際に対策として生かす予定である。
地域包括ケアシステムに対応できる人材育成	地域包括ケアシステム推進委員会	3	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年6月18日 平成27年7月8日	東京医科歯科大学	理学療法士 うち都士会員	165名 165名	都士会HP	<p>地域社会の健全な発展を目的に各自治体での介護予防事業や新しく改正された介護保険に謳われる新総合事業、地域リハビリテーション支援事業等に参加し役に立つ人材育成のため、大淵 修一先生をはじめ、介護予防事業や新総合事業で先駆的に実施している方々、実施している地域の方、より具体的な研修を行う。また、OT士会、ST士会からも地域包括ケアシステムの担当者やブロック世話人等をお呼びして、三職種でのブロック世話人及び地域包括ケア担当者の合同で情報交換を行った。リハ専門職がそれぞれの特性を生かしながら三職種で連携し、地域活動へ参加できるように進めていく。</p>
介護予防事業に対応できる評価表の作成	地域包括ケアシステム推進委員会	3	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年3月25日	東京医科歯科大学	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	12名 47名 47名	都士会HP	<p>地域社会の健全な発展を目的に各自治体での介護予防事業や新しく改正された介護保険に謳われる新総合事業、地域リハビリテーション支援事業等に派遣する理学療法士の再教育を行った。テーマは二次医療圏ごとに現状の取り組みや課題について実践しているPTに後援頂いた。「地域リハビリテーション推進広域アドバイザー設置事業」の担当者をお願いした。（以下参照）</p> <p>講師名：佐藤 信一、木野田 典保、及川 真人、平野 正仁</p>

(4) 高齢者の福祉の向上を目的とする

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

<p>理学療法の日 介護予防キャンペーン 区西南部区西部ブロック</p>	<p>業務推進部</p>	<p>4</p>	<p>38 キャンペーン(○ ○月 間)</p>	<p>自主 事業</p>	<p>主催 事業</p>	<p>平成27年7月12日</p>	<p>中野サンプラザ</p>	<p>一般都民 理学療法士 うち都士会員</p>	<p>23名 11名 11名</p>	<p>都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP</p>	<p>高齢者の福祉の向上を目的に行った。現在、2025年度に向けた地域包括ケアシステムの構築が全国各地で進められています。区西南部・西部ブロックも、その活動の一環である介護予防推進キャンペーンとして、平成27年7月12日に中野区の中野サンプラザにて「体力測定・リハビリ相談会」を開催致しました。 当日は体力測定として、Timed Up and Go Test・CS-30・握力・Functional Reach Test・片脚立位保持時間の測定を行い、測定結果と日本理学療法士協会の作成した介護予防リーフレットを基に、生活上の注意点や運動のアドバイスさせて頂きました。猛暑の中、23名(男性7名、女性16名 平均年齢65.0歳)にご来場頂き、来場者からは「実際に測定をしてみて、どんなことが出来て、どんな動作に注意すればよいか、分かって良かった」といった声を頂きました。 また、参加スタッフには東京都理学療法士協会 中野区支部の理学療法士の方々にもご協力頂き、7月17日の「理学療法の日」に併せ、地域住民の方々に対し地元の理学療法士の活動を知って頂く良い機会となりました。 今後もこのような活動を通して、理学療法士の活動を広く知って頂き、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいき、高齢者の福祉の向上に繋げていきたいと考えております。</p>
<p>「介護の日」イベント協力</p>	<p>福祉保健局</p>	<p>4</p>	<p>34 体験 活動 等</p>	<p>自主 事業</p>	<p>共催 事業</p>	<p>平成27年11月11日</p>	<p>西東京市アスタ</p>	<p>一般都民 理学療法士 うち都士会員</p>	<p>26名 7名 7名</p>	<p>都士会HP 都士会 ニュース 西東京市の市報 パンフレット</p>	<p>高齢者の福祉の向上に資するため、「介護の日」前後に開催される西東京市主催の市民向けイベント内で高齢者疑似体験及び福祉用具の使用を経験してもらい、その介助方法、使用方法等も含めて実施した。 高齢者疑似体験では、一般都民に高齢者疑似装具を装着してもらい、TUG等の転倒評価を装着前後で体験してもらった。体験してもらった市民から、「高齢者がどのように不自由に感じているのが具体的に理解出来ました。」、「高齢者が転倒しやすいことがよくわかりました。バランスを崩してしまうと支えることが大変だと感じました。」などの感想が聞かれた。 福祉用具の経験では、杖や車椅子を実際に経験してもらい、介助方法や使用方法について助言等をした。体験してもらった市民から、「杖の高さや持つ側など、とても勉強になった。」、「他者に車椅子を押してもらって坂道など怖かった。乗る側の気持ちになって介助していこうと思います。」などの感想が聞かれた。 本事業により、高齢者福祉に重要な医療・保健・福祉の知識、介護技術の向上、予防に対する意識を高めることができ、高齢者福祉の向上に寄与できたと考える。</p>
<p>リハビリ相談会 年3回(6/6, 8/1, 2016/2/6)</p>	<p>成人福祉部</p>	<p>4</p>	<p>35 相談・ 助言</p>	<p>自主 事業</p>	<p>主催 事業</p>	<p>平成27年6月6日 平成27年8月1日 平成28年2月6日</p>	<p>福生市福祉センター</p>	<p>一般都民 理学療法士 うち都士会員</p>	<p>10名 3~5名 3~5名</p>	<p>都士会 ニュース 社会福祉協議会作成の案内文書 福生市広報</p>	<p>高齢者の福祉向上を目的として、福生市福祉センターで行なわれた、一般都民向けのリハビリ相談会に参加した。各日で日常生活中で感じている不安や、相談を受け、理学療法士による自主トレーニングの指導、生活指導や、リハビリの受けられる施設や病院の紹介を行なった。</p>

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

福祉祭り リハビリ相談コーナー	成人福祉部	4	35 相談・ 助言	自主 事業	共催 事業	平成27年10月4日	福生市福祉セン ター	一般都民 理学療法士 うち都士会員	12名 7名 6名	福祉まつり のパンフ レット、ポ スターへの 記載、市広 報誌掲載 パンフレッ トは福祉セ ンター及び 各保険福祉 機関に配 布。来室し た都民の方 に自由に とっていた だく。	高齢者の福祉の向上を目的として、介護や福祉について身近に感じていただくため、福生市福祉センターにて「福祉まつり2015」を開催し、当会も共催事業としてでリハビリ相談会を開催した。 相談件数は男性3名、女性9名の計12名12件であった。 相談者の年齢は40歳代から80歳代まで幅広く、相談内容も運動器疾患や循環器疾患の活動時での注意点や、日常生活での予防体操のことまで多岐にわたった。
健康まつりリハビリ相談・ 介護予防体験コーナー	成人福祉部	4	34 体験 活動等 35 相談・ 助言	自主 事業	共催 事業	平成27年11月1日	福生市市営野球 場	一般都民 理学療法士 うち都士会員	128名 20名 20名	健康まつり のパンフ レット・ポ スターへの 記載、市広 報誌への掲 載 健康まつり のパンフ レットは市 役所、市行 政機関及び 各保健福祉 機関に配 布。来室し た都民の方 に自由に とっていた だく	高齢者の福祉の向上を目的として、介護や福祉について身近に感じていただくため、福生市福祉センターにて「福祉まつり2015」を開催し、当会も共催事業としてでリハビリ相談会を開催した。 相談件数は男性3名、女性9名の計12名12件であった。 相談者の年齢は40歳代から80歳代まで幅広く、相談内容も運動器疾患や循環器疾患の活動時での注意点や、日常生活での予防体操のことまで多岐にわたった。
研修会「介護保険領域における卒後 教育研修会」	介護保険部	4	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年12月20日	中野サンプラザ 研修室5	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1名 2名 50名 39名	都士会HP 都士会 ニュース 都士会主催 研修会等 のちらし配 布	高齢者の福祉の向上に資するため、介護保険制度に関する基礎知識や実際に行われているリハビリテーションを学ぶための研修会を開催した。理学療法士や作業療法士、言語聴覚士などのリハビリテーション専門職種をはじめ、一般都民の方にも参加いただき、現行制度における各専門職種の役割や今後の展望、連携の必要性などについて、実際に介護保険領域のリハビリテーションに従事されている二名の講師による講演を受けることで、適切で効果的なサービスの提供、高齢者福祉の向上への寄与を図った。 講師：医療法人財団逸生会 大橋病院 ト部 義文氏 有限会社 リハビリの風 森 隼人氏
研修会「介護保険の基礎知識」	介護保険部	4	33 講座、セ ミナー、育 成	自主 事業	主催 事業	平成28年1月24日	中野サンプラザ 研修室3	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	7名 0名 6名 6名	都士会HP 都士会 ニュース 都士会主催 研修会等 のちらし配 布	高齢者の福祉の向上に資するため、介護保険制度に関する基礎知識や実際に行われているリハビリテーションを学ぶための研修会を開催した。理学療法士をはじめ、理学療法士養成校の学生など一般都民の方にも参加いただき、現行制度における各専門職種の役割や今後の展望、連携の必要性などについて、実際に介護保険領域のリハビリテーションに従事されている二名の講師による講演を受けることで、適切で効果的なサービスの提供、高齢者福祉の向上への寄与を図った。 講師：有限会社 リハビリの風 阿部 洋輔氏 東京総合保健福祉センター 江古田の森 林 涼氏

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

BLS研修会	災害対策委員会	4	33 講座、セミナー、育成	委託事業	主催事業	平成28年3月12日	東京総合保健福祉センター江古田の森	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	0名 0名 19名 19名	都士会HP	高齢者の福祉の向上を目的とし、東京総合福祉センター江古田の森にて、第3回BLS研修会を開催した。講師には、日本救急医療教育機構の櫻井雅浩先生を始め、4名のインストラクターをお招きした。研修会には19名（PT19名）参加し、一時救命が必要な場面に遭遇した時の対応や、成人のみならず小児・乳児の心肺蘇生や補助呼吸、異物除去の方法等を学んだ。理学療法士も医療従事者として救急救命に関する知識・技術の習得が求められる。今後、臨床時はもちろん、災害発足時には今回の講習で習得した知識とスキルを活かし、迅速かつ的確な措置が取れる必要がある。
第35回東京都理学療法学会大会	次年度学術大会準備委員会	4	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年3月2日	多摩丘陵病院他	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	5000部	都士会HP 都士会 ニュース 研修会等でのチラシの配布 ケアマネ連絡等でのチラシの配布	高齢者の福祉の向上を目的とした地域包括ケアシステムの構築に向けて、第35回東京都理学療法学会大会において「介護予防と地域リハ活動支援」をテーマに、講師に地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所の大淵 修一先生、シンポジストに 東邦大学医療センター 大橋病院のト部 吉文 先生、医療法人社団翔洋会 辻内科循環器科歯科クリニックの齋藤 弘 先生、特定医療法人丸山会 老人保健施設ケア東久留米の館崎 信之 先生、一般財団法人天誠会 老人保健施設小金井あんず苑の武市 裕貴 先生を招いて講演とシンポジウムを開催する。その開催案内のチラシを作成し、ケアマネ連絡会、都士会研修会等へ配布した。

(5) 障害者の支援を目的とする

平成27年度 第14回キッズフェスタ（子どもの福祉機器展）出展	小児福祉部	5	39 展示会（○○ショー）	自主事業	主催事業	平成27年4月18日～19日	TKC東京流通センター	一般都民 理学療法士 うち都士会員	各日300名 各日5～6名 各日5～6名	都士会 ニュース 展時ブースにて小児福祉部紹介パンフレットを配布	障害者支援を目的とし、4月18日～19日にTRC東京流通センターにて開催された、第14回キッズフェスタに参加した。3回目の出展となる今回は、昨年124名のご家族にご協力頂いた「日常生活の困っている事」のアンケートの分析結果を踏まえて一昨年、昨年の中から選出したアイデアグッズと共に部員のコラムやおすすめグッズを加えた「保存版アイデアグッズカタログ」を作成し、配布致した。配布の際は今後のニーズ確認のため500名の方にアンケートにご協力頂くことが出来た。ブース展示では、アイデアグッズの展示、部員おすすめ商品の紹介を行い、企業からのご厚意で多くのデモ商品も展示することも出来た。ブースに来られる方は保護者や医療関係者、企業など多くの方に興味を持って頂き、グッズの使い方や作り方などに対する質問が多く、改めてニーズの多さを感じた。昨年から開催しているセミナーは「脳性まひを持った子ども達の姿勢ケア」として部員の黒川、加藤がお話させて頂き、約100名の方が参加して頂いた。
障がい児に関わる保護者・他職種向け講習会	小児福祉部	5	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年9月5日	東京女子医科大学病院	一般都民 理学療法士 うち都士会員	33名 8名 8名	都士会HP 都士会 ニュース 講習会開始時に小児福祉部の活動紹介を実施	9月5日（土）東京女子医科大学病院にて「重症心身障害児・者に対する呼吸ケア」を障害者支援を目的に開催しました。保護者や特別支援学校の教員、訪問看護ステーションの看護師、リハビリスタッフなど33名の参加がありました。2名の講師をお招きし、講義や実技を踏まえて呼吸の基礎から呼吸障害、重症児・者特有の問題、呼吸ケアについてお話して頂きました。実技の際には各グループに部員が指導者に入ったため、アンケートからはしっかりと教えてもらえて良かったというコメントが多く、大変好評でした。 講師名：圖師将也 氏（東京女子医科大学病院）・津久井洋平氏（南多摩整形外科病院）

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

東京都小児リハビリテーションマップの更新	小児福祉部	5	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成27年 通年事業	島田療育センターはちおうじ	理学療法士 うち都士会員	4～5名 4～5名	都士会HP 都士会 ニュース	小児リハビリテーションマップの第2版作成に向けて、調査対象の範囲、調査内容等の検討を行なうことにより、障害者支援を目的とした。 アンケート送付施設の選別作業（小児リハビリテーション実施施設のみ調査するため）を行い、第2版完成は平成28年12月を予定している。
平成28年度 第15回キッズフェスタ（子どもの福祉機器展）出展準備	小児福祉部	5	39 展示会（○○ショー）	自主事業	主催事業	平成27年10月～平成28年3月	島田療育センターはちおうじ	理学療法士 うち都士会員	1～11名 1～11名	都士会HP 都士会 ニュース	障害者支援を目的とし、平成28年度第15回キッズフェスタ（子どもの福祉機器展）出展準備のため展示内容、セミナー内容の検討を行う。 来年度から、東京都作業療法士会、東京都言語聴覚士会と3士会合同で展示・セミナー内容を検討している。
福祉祭り リハビリ相談コーナー	成人福祉部	5	35 相談・助言	自主事業	共催事業	平成27年10月4日	福生市福祉センター	一般都民 理学療法士 うち都士会員	12名 7名 6名	福祉まつりのパンフレット、ポスターへの記載、市広報誌掲載 パンフレットは福祉センター及び各保険福祉機関に配布。来室した都民の方に自由にとっていただく。	障害者の支援を目的として、介護や福祉について身近に感じていただくために開催した。福生市福祉センターにて「福祉まつり2015」が開催し、当会も共催事業としてでリハビリ相談会を開催した。 相談件数は男性3名、女性9名の計12名12件であった。 相談者の年齢は40歳代から80歳代まで幅広く、相談内容も運動器疾患や循環器疾患の活動時での注意点や、日常生活での予防体操のことまで多岐にわたった。
健康まつりリハビリ相談・介護予防体験コーナー	成人福祉部	5	34 体験活動等 35 相談・助言	自主事業	共催事業	平成27年11月1日	福生市市営野球場	一般都民 理学療法士 うち都士会員	128名 20名 20名	健康まつりのパンフレット・ポスターへの記載、市広報誌への掲載 健康まつりのパンフレットは市役所、市行政機関及び各保健福祉機関に配布。来室した都民の方に自由にとっていただく	障害者の支援を目的として、介護や福祉について身近に感じていただくために開催した。福生市福祉センターにて「福祉まつり2015」が開催し、当会も共催事業としてでリハビリ相談会を開催した。 相談件数は男性3名、女性9名の計12名12件であった。 相談者の年齢は40歳代から80歳代まで幅広く、相談内容も運動器疾患や循環器疾患の活動時での注意点や、日常生活での予防体操のことまで多岐にわたった。

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

障がい者スポーツ施設および大会の視察	障がい者スポーツ部	5	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成27年6月6日	駒沢オリンピック総合運動場	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	739名 3名 6名 6名	大会参加者への広報活動は受付にチラシを置き、会場内にポスターを掲示した	障がい者の支援を目的として、平成27年6月6日（土）駒沢オリンピック総合運動場にて開催された第16回東京都障害者スポーツ大会（陸上競技 身体・精神部門）において、コンディショニングサービスを目的としたコンディショニングルームを開設した。開催に際して事前に大会主催者となる東京都や東京都障がい者スポーツ協会と打ち合わせを行い、サービスを提供する競技種目の検討や、ブースの設置場所、サービス内容などの提案、医務との連携などを協議した。大会当日は一人30分程度の時間で、問診・全身評価・観察をし、ストレッチ・モビライゼーション・リラクゼーションなどの徒手療法、自主トレ指導などを実施した。
障がい者スポーツを支援するための講習会を開催する事業	障がい者スポーツ部	5	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年10月11日 平成28年1月23日	東京都障害者総合スポーツセンター 東京都多摩障害者スポーツセンター	理学療法士 うち都士会員	32名 32名	都士会HP 都士会 ニュース	障害者の支援を目的として、10月11日に東京都障害者総合スポーツセンター、1月23日に東京都多摩障害者スポーツセンターにて下記の内容の研修会を開催した。 <1>障害者スポーツセンター見学研修会 障害者スポーツの理解を深め、臨床現場で障がい者の社会復帰を、スポーツを通して支援出来る多角的視点を持った理学療法士を育成する目的で、施設見学研修会を開催。午前は、東京都障害者スポーツ協会・東京都障害者総合スポーツセンター・スポーツ支援課・地域スポーツ振興係の瀬上健司係長に講師依頼をし、障害者スポーツについてや、センター事業・活動について講義を頂いた。また、当部の部員で、帝京大学付属板橋病院の今野陽一郎先生より、「理学療法士によるスポーツ医事相談」の活動報告をして頂いた。午後は、センター利用者の交流も兼ねた、スポーツレクリエーションを実施した。 <2>車椅子スポーツ実技研修会 車椅子スポーツの理解と体験をし、社会復帰を目指す障がい者に幅広く助言や情報提供が出来る理学療法士を育成する目的で実技研修会を開催。午前は、東京都障害者スポーツ協会・事業推進部・地域スポーツ振興課の廣木美奈先生に講師を依頼し、車椅子スポーツ種目や競技特性について講義を頂いた。また、当部部員で、独立行政法人 地域医療機能推進機構東京高輪病院 青木一平先生より、車椅子バスケット競技におけるクラス分けシステムについて講義を頂いた。午後も引き続き廣木先生に講師をお願いし、体育館にて競技用車椅子のレクリエーションを行った。
機器開発助成	PT関連機器開発委員会	5	43 助成（応募型）	自主事業	主催事業	平成27年9月12日～1月8日	都士会HP	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員		都士会HP 都士会 ニュース	障害者の支援を目的として、機器開発の助成の募集を行った。問い合わせは5件あったが、正式な応募にはいたらなかった。

国際福祉機器展	PT関連機器開発委員会	5	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成27年10月7日～9日 平成27年12月17日	東京ビックサイト TOC有明	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	4名	都士会HP 都士会 ニュース	<p>障害者の支援を目的として、国際福祉機器展の視察を行った。今年度の来場者総数は119,075人に達した。3日間にわたり、都士会員4名にて行った今年度の機器展示視察に関して、以下に報告する。</p> <p>地域包括ケアシステムを意識した企業が増え、介護される側、介護する側の負担を軽減する機器や製品の展示が増加している印象だった。</p> <p>IT化はより進んでいる印象が強かった。例えば離床センサーという名称は変わらないが、モニター内容は以前のように離床をオンオフで知らせるのみではなくなり、睡眠、呼吸、心拍、ベッド上の活動量などを示す機能が向上していた。これらは最近まで実験や測定のためだけに用いられていたセンサーに対して視点を変え、介護現場での使用を試みたものと思われた。</p> <p>それ以外にも、産業用ロボット製作の技術を生かし、医療・福祉業界へ参入し、歩行や移乗のアシスト装置のみでなく、リハビリテーション機器を開発するなど積極的な姿勢をみせている企業もあった。今後、理学療法士として機器を上手に活用し、その情報を広めていく必要性を感じた。</p> <p>平成27年12月17日にテクノエイド協会主催で行われた介護ロボット講師養成研修会に参加。屋外の移動支援機器及び見守り支援機器の有効活用に関して、講義が行われた。屋外移動支援機器はモーターを搭載した機器により、移動支援のモニター結果が紹介された。見守り支援機器は施設使用での具体例の提示があった。</p>
---------	-------------	---	---------------	------	------	------------------------------	-------------------	-------------------------------------	----	----------------------	--

(6) 教育機関に協力し、健康並びに教育の向上に資する

理学療法の現場施設見学会	外宣部	6	34 体験活動等	自主事業	主催事業	平成27年8月10日～21日	都内施設	一般都民 理学療法士 うち都士会員	19名 名 名	都士会HP ポスター	<p>教育機関に協力し、健康並びに教育の向上に資することを目的に理学療法士を志す育成校の学生や高校生を対象に理学療法士の日々の業務を紹介し、実際に見学して頂くことで後世の育成を担う施設見学会を開催した。参加者はそれぞれ希望の施設で、施設や業務に関する紹介やリハビリ場面の見学を行いました。また、ホームページ上、ポスター掲示での募集を行ったところ、19名の参加があった。</p> <p>参加者からは「自身の知らない所での理学療法士の活躍があることに驚いた。」、「実際に目指している仕事内容を見ることが出来、刺激をもらい勉学への意欲が一層高まった。」等の好意的な意見が寄せられました。参加施設からは「理学療法士を志す高校生へ自分の仕事の魅力を伝えることで自分自身、現在の業務に自信がもてた。」という声や「育成校の学生とバイザー・実習生ではない立場で現在の学生が何を思っているのか聞かせもらうことができ、本当に貴重な体験をさせていただきました。」との声が挙げられた。</p>
学校での体育活動のメディカルサポート活動	学校保健部	6	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成27年5月3日～11月28日 平成27年11月25日、平成28年2月19日	小平市立第二中学校、国分寺第一中学校、蒲田女子高校	一般都民 理学療法士 うち都士会員	各日20～30名 各日2～4名 各日2～4名	都士会HP	<p>教育機関と協力し、健康並びに教育の向上に資することを目的とし、都内の中学校等における部活などの体育活動時のメディカルサポートを行う理学療法士を定期的に派遣した。</p> <p>小平市立第二中学校を対象に計13回練習および試合に帯同し運動指導やテーピングを中心としたサポートを実施した。そのことにより怪我の予防を進めることで、生徒たちの健康維持・体力増進に寄与する。同様の活動を蒲田女子高校でも2月19日に実施した。なおこのサポート事業のために依頼のあった学校の指導教員との打ち合わせ、またこれらの活動計画、活動報告を実施するための会議を合わせて開催した。</p>

中学生への出前授業（理学療法士の立場からいのちを考える）	公開講座準備委員会	6	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年3月8日	鹿本中学校	教員 中学生	5名 140名	都士会HP	教育機関に協力し、健康並びに教育の向上に資するため、小児分野で勤務する理学療法士（講師：島田療育センターはちおうじ黒川洋明氏）による「いのちの授業」を開催した。今回は中学校からの依頼を受けて実施した。具体的には、障害が持ちながら全力で生き抜いた同世代の障害児の生涯について紹介し、命について考える機会を提供できたと考えている。尚、広報は、広く都民から公募するためホームページで公開講座の案内を掲載した。
療育に関する研修会	公開講座準備委員会	6	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年1月24日	医科歯科大学	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	146名 4名 10名 5名	都士会HP 都士会ニュース ポスター	教育機関に協力し、健康並びに教育の向上に資するため、療育分野で成果を上げている行動分析学を用いた対応について講義を頂いた。講師は、この分野で活躍されている慶應義塾大学文学部教授山本淳一氏にお願いした。具体的な講義内容は、学習障害や注意障害のある児童への対応方法を行動分析学に基づいて教示戴いた。尚、広報は、広く都内の小中高等学校および特別支援学校に郵送にて案内状を送付した他、本会ホームページでも案内を掲載した。

(7) 理学療法に関する刊行物の発行及び調査研究

診療報酬に関するアンケート調査	医療報酬部	7	36調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成27年11月2日～30日	杏林大学医学部 附属病院	理学療法士 うち都士会員	110名 名	都士会HP	理学療法の現状を把握することは都民からの要望に対応するためには必須である。現状を把握するため理学療法に関する調査研究を目的とし、都内における理学療法実施状況に関するアンケート調査を実施した。第50回理学療法学会大会で平成24年度に行ったアンケート結果との比較を発表した。
ニュースNo.194	広報部	7	33講座、セミナー、育成 35相談・助言 36調査・資料収集 43助成（応募型） 58公益性が無いその他の事業	自主事業	主催事業	平成27年5月25日	都士会HP上	一般都民 理学療法士 うち都士会員	不特定多数の閲覧者	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識技術の向上、学術及び科学技術の振興に資するため、年間を通じて都内各地で開催される各種公開講座や研修会の開催案内及び報告を本会発行刊行物（都士会ニュース等）に掲載し、広報活動に利用した。理学療法に関する刊行物を発行し、年間を通じて都内各地で開催される相談助言事業の開催案内及び報告を調査資料収集事業に関する協力依頼及び報告、研究助成事業に関する募集案内及び報告、広報活動に利用した。
ニュースNo.195	広報部	7	33講座、セミナー、育成 43助成（応募型） 58公益性が無いその他の事業	自主事業	主催事業	平成27年8月25日	都士会HP上	一般都民 理学療法士 うち都士会員	不特定多数の閲覧者	都士会HP 都士会ニュース	理学療法士の知識技術の向上に資するため、年間を通じて都内各地で開催される各種公開講座や研修会の開催案内及び報告を本会発行刊行物（都士会ニュース等）に掲載し、広報活動に利用した。理学療法に関する刊行物を発行し、年間を通じて研究助成事業に関する募集案内及び報告、広報活動に利用した。

ニュースNo.196	広報部	7	33講座、セミナー、育成 34体験活動等 35相談・助言 36調査・資料収集 58公益性が無いその他の事業	自主事業	主催事業	平成27年11月25日	都士会HP上	一般都民 理学療法士 うち都士会員	不特定多数の閲覧者	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識技術の向上、学術及び科学技術の振興に資するため、年間を通じて都内各地で開催される各種公開講座や研修会の開催案内及び報告を本会発行刊行物（都士会ニュース等）に掲載し、広報活動に利用した。 理学療法に関する刊行物を発行し、年間を通じて都内各地で開催される体験活動の開催案内及び報告、相談助言事業の開催案内及び報告、調査資料収集事業に関する協力依頼及び報告、本会の収益事業に関する案内及び報告を本会発行刊行物（都士会ニュース等）に掲載し、広報活動に利用した。
ニュースNo.197	広報部	7	33講座、セミナー、育成 34体験活動等 35相談・助言 36調査・資料収集 58公益性が無いその他の事業	自主事業	主催事業	平成28年2月25日	都士会HP上	一般都民 理学療法士 うち都士会員	不特定多数の閲覧者	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識技術の向上、学術及び科学技術の振興に資するため、年間を通じて都内各地で開催される各種公開講座や研修会の開催案内及び報告を本会発行刊行物（都士会ニュース等）に掲載し、広報活動に利用した。 理学療法に関する刊行物を発行し、年間を通じて都内各地で開催される体験活動の開催案内及び報告、相談助言事業の開催案内及び報告、調査資料収集事業に関する協力依頼及び報告、本会の収益事業に関する案内及び報告を本会発行刊行物（都士会ニュース等）に掲載し、広報活動に利用した。
機関誌「理学療法東京 第4号」編集・発行	機関誌編集部	7	36調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成27年5月15日、6月5日、10月23日、平成28年1月15日	東京女子医科大学病院 リハビリテーション室	理学療法士 うち都士会員	各日4～6名 各日3～5名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法に関する刊行物を発刊及び調査研究に資するため、理学療法に関する研究報告及び本会が主催した調査資料収集した報告を「理学療法東京」に掲載した。また、当刊行物は、広く配布するため医療・福祉関係団体及び都民には無償で提供するように努めている。 機関誌の内容充実、投稿者教育の意味でも、査読委員を各分野の専門家に依頼してきた。 この機関誌に投稿したり読んだりすることで、東京都内の多くの施設で働く理学療法士の質向上、意識付けを目的としている。

(8) 理学療法士の知識・技術向上のための研修会開催等に関する

新人教育プログラム第2回研修会	学術局	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年9月5日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	340名 294名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、参加希望の理学療法士を対象に、新人の育成研修会を実施した。実施内容は以下の通りであった。 E-3：国際社会と理学療法 講師：杏林大学 石井博之 先生 B-1：一時救命措置と基本処置 講師：永生会南多摩病院 倉田孝徳 先生 D-3：理学療法の研究方法論（EBPT含む） 講師：東京衛生学園専門学校 森島健 先生
-----------------	-----	---	--------------	------	------	-----------	-------------------	-----------------	--------------	----------------------	---

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

新人教育プログラム第3回研修会	学術局	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年11月29日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	254名 216名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、参加希望の理学療法士を対象に、新人の育成研修会を実施した。実施内容は以下の通りであった。 必須初期研修 (A×5コマ) A-1 理学療法と倫理 講師：社会医学技術学院 林弘康 先生 A-2 協会組織と生涯学習システム 講師：帝京科学大学 高田治実 先生 A-3 リスクマネジメント (安全管理と感染予防含む) 講師：総合東京病院 清藤恭貴 先生 A-4 人間関係および接遇 (労働衛生含む) 講師：社会医学技術学院 岡田要一郎 先生 A-5 理学療法における関連法規 (労働法含む) 講師：東京都理学療法士協会 野本 彰 先生
平成27年度都士会研修会 (1) マイオチューニングアプローチ	都士会研修部	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年5月30日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	21名 12名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術の向上を目的として、筋緊張を抑制・促進し、コントロールするマイオチューニングアプローチ (MTA) の技術研修会を開催した。マイオチューニングの理論から上肢・下肢・体幹に対する治療的アプローチをわかりやすく説明した後に、複数の講師による技術指導が行われた。受講者は、2人一組になりお互い治療者役と患者役になり、技術を研鑽した。講師は、マイオチューニングアプローチ学会会長の高田治実先生に依頼した。全国の免許取得理学療法士を対象に日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより公募を行った。
平成27年度都士会研修会 (2) 呼吸器疾患の理学療法	都士会研修部	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年7月4、5日	帝京科学大学 千住キャンパス	理学療法士 うち都士会員	36名 30名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術の向上を目的として、呼吸器疾患の理学療法の研修会を開催した。知識の確認の意味で呼吸器の解剖・正常生理という基礎から病態生理までの講義を行った後、肺聴診、排痰技術の指導の実技まで呼吸理学療法技術の研鑽が図られた。特に、最終プログラムでは、各受講者の症例検討による討議が行われ、具体的な事例と活発な討議を通じた知識・技術の向上が行われた。講師は、「3学会 (日本胸部外科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔科学会) 合同呼吸療法認定士」も取得している慶應義塾大学医学部附属病院リハビリテーション部の深井和良先生に依頼した。全国の免許取得理学療法士を対象に日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより公募を行った。
平成27年度都士会研修会 (3) 心疾患の理学療法	都士会研修部	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年9月12、13日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	32名 22名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術の向上を目的として、日本の心疾患に対する理学療法の第一人者である高橋哲也 (東京工科大学理学療法学科教授) 先生に講義を依頼した。研修会内容は、「心疾患を合併した患者に対する理学療法の基本」のテーマのもと具体的には、狭心症や心筋梗塞を合併した場合の理学療法、不整脈のある患者の理学療法、息切れのある患者の理学療法、カルテをどのように読み解くか、運動プログラムの組み立て方、循環器系フィジカルアセスメントはこうやる について症例検討も加えて研修を行った。全国の免許取得理学療法士を対象に日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより公募を行った。

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

平成27年度都士会研修会 (4) タッチング：ふれあい	都士会研修部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年10月11、12日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	14名 8名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の知識・技術の向上を目的として、ボバース法を元に独自の治療技術を取り入れ、関西を中心に活躍されている奈良県山の辺病院の山中善詞先生に講義・研修を依頼した。研修会内容は、ボバース法の基本である「ハンドリング」の前の段階である「タッチング」について十分な時間をさき、タッチ（触れる）ことに対する人間の反応の鋭敏さや反応に現れ方などの講義のあと、受講者同志実際に触れることでどのような反応が起こってくるかを体験した。そのあと、自分の目的とする反応を得るための触れ方を実習として学んだ。実際の症例のビデオを見ながら、患者に対する効果も学習した。全国の免許取得理学療法士を対象に日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより公募を行った。
平成27年度都士会研修会 (5) 成人片麻痺の評価と治療	都士会研修部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年1月30、31日	順天堂大学医学部 付属順天堂医院	理学療法士 うち都士会員	32名 29名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	脳卒中後の片麻痺に対する評価と治療を理学療法士の中核性疾患に対する治療法に関して、理学療法士の知識・技術向上を目的にBobath法を基に講義と実技研修を行なった。講師は、関東甲信越地域では、有名な曾根政富（Basic Course Instructor、順天堂江東高齢者医療センター理学療法士）、大槻暁（順天堂練馬病院理学療法士）、塚田直樹（順天堂大学江東高齢者医療センター理学療法士）、保莉吉秀（順天堂大学医学部附属順天堂医院）の4名の先生方に来ていただいた。発達学的な治療であるため、臥位から寝返り、起き上がり、座位保持、立ち上がり、立位保持、歩行とヒトの発達に沿った治療法を段階的に指導された。コンセプトの変遷から最新の治療法の内容まで最新の知見を取り入れた内容であった。全国の免許取得理学療法士を対象に日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより公募を行った。
平成27年度都士会研修会 モビライゼーションPNF手技を用いた関節可動域改善・筋力強化・疼痛軽減に対するEBMに基づいた新たな治療法	受託研修部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年5月17日	首都大学東京 荒川キャンパス 運動療法室	理学療法士 うち都士会員	26名 11名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術の向上を目的として、モビライゼーションPNF手技を用い、最新のEBMに基づいた関節可動域改善や筋力強化、疼痛軽減に関する講義及び実技の研修会を開催した。講師は動的モビライゼーション療法学会理事長の新井光男先生と苑田第二病院の白谷智子先生に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集した。
運動器疾患とPNF	受託研修部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年6月14日	首都大学東京 荒川キャンパス 運動療法室	理学療法士 うち都士会員	27名 7名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術の向上を目的として、固有受容性神経筋促通法（PNF）手技を用い、肩関節疾患や腰痛症の患者へのアプローチ方法の講義及び実技の研修会を開催した。講師は日本PNF学会理事長の柳澤健先生、副理事長の今井基次先生、事務局長の新井光男先生に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集した。
徒手理学療法概説	受託研修部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年6月28日	法政大学多摩 キャンパス	理学療法士 うち都士会員	18名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術の向上を目的に、身体機能障害の改善に大きな効果をもたらす徒手療法の導入編として本講習会を開催した。内容は、関節の動きや機能について一通りの解剖学・運動学の最新の知見を紹介した上で、上下肢を中心とした実技指導を行った。手技内容は即臨床で活用できるような実践的なものを多く含んでおり、対象者の症状の即時的改善を期待することができるものを多く取り入れた。講習会の告知は都士会HPやニュースなどで用いて行った。講師はこの分野に先駆的に取り組まれている以下の方々をお願いした。 安藤正志氏、朝倉敬道氏

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

痛み・麻痺・運動機能障害に対するマイオチューニングアプローチの実践	受託研修部	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年7月11日、12日	帝京科学大学	理学療法士 うち都士会員	31名	都士会HP 都士会 ニュース	臨床業務を行っている理学療法士の知識・技術を向上させることを目的に講習会を実施した。内容は日常生活に多大な支障をきたす痛み、運動麻痺、機能障害の改善を図る手技「マイオチューニングアプローチ」の習得とした。より広く、知識・技術をひろめて都民の健康・福祉の向上に寄与することを目標に、都士会HPやニュースなどで告知をおこなった。講義内容は、生理学的・解剖学的な知見による理論的根拠を示しながら、実践的なテクニックをふんだんに取り入れたものとなった。講師はこの分野に先駆的に取り組まれている以下の方々をお願いした。 高田治実氏、菅沼一男氏、石垣栄司氏、芹田 透氏、榊原僚子氏
成人片麻痺の評価と治療	受託研修部	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年7月11日、12日	順天堂大学医学部附属順天堂医院	理学療法士 うち都士会員	34名 11名	都士会HP 都士会 ニュース	<目的> ・理学療法士の知識・技術向上を目的に、本講習会では、専門家としての自覚と自己研鑽にむけた一助となるために必要な基本的な神経疾患に対する評価と評価の習得のための講習会を実施した。 <内容> ・講義：評価と治療について Clinical reasoning Locomotion ・デモンストレーションまたはビデオケーススタディー ・実技：臥位⇄座位 立ち上がり 立位バランス 歩行 etc. 講師は片麻痺の理学療法に先駆的に取り組まれている以下の方々をお願いした。 大槻 暁氏、曾根 政富氏、保苅 吉秀氏、塚田 直樹氏、高村 浩司氏、福富 利之氏
人工膝関節置換術の理学療法ガイド	受託研修部	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年7月12日	苑田会人工関節センター病院	理学療法士 うち都士会員	22名 7名	都士会HP	理学療法士の知識・技術向上を目的に、1～5年目のセラピストを対象とし、人工膝関節置換術の手術方法や理学療法の評価および治療のポイントの理解、人工膝関節の研究の現状と研究計画の立て方を学ぶ機会を設けた。医師による変形性膝関節症の診断や治療方法の解説、骨模型を用いた人工膝関節置換術の手術方法のデモンストレーションを行った。また、術前と術後早期から回復期に対する理学療法の評価と治療のポイントを解説した。人工膝関節の研究の現状と研究の進め方についても説明した。講師は人工関節置換術の理学療法に先駆的に取り組まれている以下の方々をお願いした。 美崎 定也氏、田中 友也氏、古谷 英孝氏
脊柱・体幹の触診機能解剖	受託研修部	8	33 講座、セミナー、育成	委託事業	主催事業	平成27年8月8日、9日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	38名 13名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法の知識・技能向上を目的に首都大学東京の竹井仁先生・来間弘康先生・宇佐英幸先生・小川大輔先生に講師を依頼し、触診の知識と方法についての講習会を実施した。触診機能解剖カラーアトラスを使用して、脊柱・体幹を中心に体表から触診可能な骨・関節・靭帯・筋肉・神経・血管を、解剖学的知識に基づき触診する実技講習を行った。
顎関節に対する徒手理学療法	受託研修部	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年7月25日、26日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	30名 14名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法の知識・技能向上を目的に顎関節に対する知識と、徒手理学療法による治療戦略および手段についての講習会を開催した。講師は竹井仁先生、遠藤優先生に依頼した。顎関節に影響を及ぼす姿勢や筋バランスを評価し、顎関節症に対する包括的治療を紹介した。

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

脳性麻痺児の評価と治療	受託研修部	8	33 講座、セ ミナ、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年8月8日、9日	順天堂大学医学 部附属順天堂医 院	理学療法士 うち都士会員	25名 4名	都士会HP 都士会 ニュース	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士の知識・技術向上のため、今回の講習会を開催した。本講習の目的は心身の発達障害の理学療法に関する知識と技能を習得し、一定の経験を有し、安全で適切に実践することができる。 <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：痙直型 アテトーゼ型 ・デモンストレーション：2症例(痙直型、アテトーゼ型) ・実技練習：座位、立位における姿勢分析 Head、Trunk control Arm support バランス etc. <p>講師は発達障害の理学療法に先駆的に取り組まれている以下の方々をお願いした・ 北原 エリ子氏、丸森 睦美氏</p>
筋膜リリース～基礎から応用～	受託研修部	8	33 講座、セ ミナ、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年9月19日～23 日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	40名 9名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法の知識・技能向上を目的に竹井仁先生(首都大学東京)、金子満寛先生(訪問看護ステーションほたる)、来間弘展先生(首都大学東京)、勝又泰貴先生(苑田第一病院)に講師を依頼し、筋膜リリースの理論と技術についての講習会を開催した。筋膜配列に沿って運動検査と触診検査から筋膜の機能異常を評価し、四肢・体幹に対する基礎的な筋膜リリース手技から骨盤帯・頭頸部・顎関節機能異常などに対する筋膜リリース応用、小児に対する治療アプローチまでを講義した。
第10486回理学療法士講習会理学療法士職域拡大セミナー(胸椎障害の理学療法)	受託研修部	8	33 講座、セ ミナ、育 成	自主 事業	共催 事業	平成27年9月20日	法政大学 多摩 キャンパス	理学療法士 うち都士会員	29名 12名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上を目的として、胸椎障害の理学療法に関する講義及び実技の講習会を開催した。講義はこの分野において先駆的に取り組まれている安藤正志氏、中山彰博氏の2名に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPと日本理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集した。
モビライゼーションPNF手技を用いたADL動作に対するEBMに基づいた新たなアプローチ	受託研修部	8	33 講座、セ ミナ、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年9月27日	首都大学東京 荒川キャンパス 運動療法室	理学療法士 うち都士会員	32名 10名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術の向上を目的として、モビライゼーションPNF手技を用いたADL動作に対するEBMに基づいた新たなアプローチの講義及び実技の研修会を開催した。講師は動的モビライゼーション療法学会理事長新井光男先生と、事務局長の白谷智子先生に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集した。
第10504回理学療法士講習会理学療法士職域拡大セミナー(頭痛の評価と治療)	受託研修部	8	33 講座、セ ミナ、育 成	自主 事業	共催 事業	平成27年11月15日	法政大学 多摩 キャンパス	理学療法士 うち都士会員	36名 14名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上を目的として、頭痛の評価に基づいた治療的アプローチに関する講義及び実技の講習会を開催した。講義はこの分野において先駆的に取り組まれている安藤正志氏、日浦幹夫氏の2名に依頼した。公募方法は、日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HP及び東京都理学療法士協会ニュースにより理学療法士を対象として募集した。

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

新人教育プログラム第1回研修会	新人教育部	8	33 講座、セ ミナ、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年8月2日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	338名 302名	都士会HP 都士会 ニュース	参加希望の理学療法士を対象に、理学療法士としての広い知識・ 技術の普及と新人の育成を目的とした研修会を実施した。 必須初期研修 (A×5コマ) A-1 理学療法と倫理 講師：社会医学技術学院 林弘康 先生 A-2 協会組織と生涯学習システム 講師：帝京科学大学 高田治実 先生 A-3 リスクマネジメント (安全管理と感染予防含む) 講師：総合東京病院 清藤恭貴 先生 A-4 人間関係および接遇 (労働衛生含む) 講師：社会医学技術学院 岡田要一郎 先生 A-5 理学療法における関連法規 (労働法含む) 講師：東京都理学療法士協会 野本 彰 先生
新人教育プログラム第2回研修会	新人教育部	8	33 講座、セ ミナ、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年9月5日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	340名 294名	都士会HP 都士会 ニュース	参加希望の理学療法士を対象に、理学療法士としての広い知識・ 技術の普及と新人の育成を目的とした研修会を実施した。 B理学療法の基礎・D理学療法の専門性・E理学療法における人 材の育成から以下の3コマを実施した。 B-1 一次救命処置と基本処置 講師：永世会南多摩病院 倉田孝徳 先生 D-3 理学療法の研究法論 (EBPT 含む) 講師：東京衛生学園専門学校 森島健 先生 E-3 国際社会と理学療法 講師：杏林大学 石井博之 先生
新人教育プログラム第3回研修会	新人教育部	8	33 講座、セ ミナ、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年11月29日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	254名 216名	都士会HP 都士会 ニュース	参加希望の理学療法士を対象に、理学療法士としての広い知識・ 技術の普及と新人の育成を目的とした研修会を実施した。 必須初期研修 (A×5コマ) A-1 理学療法と倫理 講師：社会医学技術学院 林弘康 先生 A-2 協会組織と生涯学習システム 講師：帝京科学大学 高田治実 先生 A-3 リスクマネジメント (安全管理と感染予防含む) 講師：総合東京病院 清藤恭貴 先生 A-4 人間関係および接遇 (労働衛生含む) 講師：社会医学技術学院 岡田要一郎 先生 A-5 理学療法における関連法規 (労働法含む) 講師：東京都理学療法士協会 野本 彰 先生
新人教育プログラム第4回研修会	新人教育部	8	33 講座、セ ミナ、育 成	自主 事業	主催 事業	平成28年2月6日	首都大学東京 荒川キャンパス	理学療法士 うち都士会員	300名 271名	都士会HP 都士会 ニュース	参加希望の理学療法士を対象に、理学療法士としての広い知識・ 技術の普及と新人の育成を目的とした研修会を実施した。 B理学療法の基礎・D理学療法の専門性・E理学療法における人 材の育成から以下の3コマを実施した。 B-2 クリニカルリーディング 講師：関東リハビリテーション専門学校 齋藤航 先生 B-3 統計方法論 講師：首都大学東京 新田收 先生 D-2 生涯学習と理学療法の専門領域 講師：首都大学東京 綱本和 先生
教材資料貸出	教材資料部	8	33 講座、セ ミナ、育 成	自主 事業	主催 事業	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	順天堂東京江東 高齢者医療セン ター	理学療法士 うち都士会員	54名 52名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法の知識や技術の向上に貢献するため、都士会所有の教材 の貸出を行った。 また、新規教材作成にあたり、都士会主催の「理学療法研究法講 習会」、を撮影し、e-ラーニングのためのDVD作製を行った。

英語論文紹介	教材資料部	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	都士会HP	理学療法士 うち都士会員	閲覧者数不特定 多数	都士会HP 機関誌「理学療法東京」	理学療法士の知識・技術向上を目的に理学療法の知識や技術の向上に貢献する英語論文（6論文）を日本語要約し、解説とともに紹介を行った。タイトルは以下の通りである。 ・Early Rehabilitation Targeting Cognition, Behavior, and Motor Function After Lumbar Fusion: A Randomized Controlled Trial. ・Sit To Stand Biomechanics Before and After Total Hip Arthroplasty. ・Prevention of acute knee injuries in adolescent female football players: cluster randomized controlled trial. ・Inconsistent classification of pusher behaviour in stroke patients: a direct comparison of the Scale for Contraversive Pushing and the Burke Lateropulsion Scale. ・Functional and Biomechanical Outcomes After Using Biofeedback for Retraining Symmetrical Movement Patterns After Total Knee Arthroplasty: A Case Report. ・Functional Evidence for Memory Stabilization in Sensorimotor Adaptation: A 24-h Resting-State fMRI Study.
理学療法研究法講習会	研究推進部	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年2月27日	日本大学文理学部	理学療法士	63名 53名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上を目的に、理学療法に関する研究を実施するための基礎的な知識について、内部障害をテーマに講習を行った。尚、講師はこの分野で先駆的に取り組まれている以下の方々をお願いした。 1) 呼吸理学療法における帰結評価の考え方と進め方 （講師：聖マリアンナ医科大学病院・渡邊陽介先生） 2) 心大血管管理理学療法における帰結評価の考え方と進め方 （講師：聖マリアンナ医科大学病院・武市尚也先生）
診療報酬に関する講習会	医療報酬部	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	共催事業	平成27年11月20日	参議院会館	理学療法士 うち都士会員	73名	都士会HP	理学療法士の知識・技術向上を目的に理学療法士を対象に、「平成28年診療報酬改定に向けての現在の論点整理」と題して、東京都理学療法士連盟と共催で、診療報酬改定に向けての研修会を開催した。
平成27年度 第1回 区中央部・区南部・島しょブロック研修会	業務推進部	8	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年7月25日	東京慈恵会医科大学	理学療法士 うち都士会員	26名 26名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法およびリハビリテーション等に関連した専門的知識・技術向上を図り、都民に質の高いサービスを提供する理学療法士を育成する目的として、地域包括ケアシステムについての情報や意見交換を実施した。 地域包括ケアシステムに向けて、区市町村というコミュニティにおいて、一理学療法士ができることを中心に公演がなされた。区市町村における理学療法士団体のあり方の重要性や今後どのような取り組みを行っていくのかを討論できた有意義な研修会となった。 講師名 森 隼人 先生（リハビリの風訪問看護ステーション みなと） 友清 直樹 先生（山王リハビリ・クリニック、大田区理学療法士会会長）

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

平成27年度 区中央部・区南部・島しょブロック学術集会	業務推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年11月18日	東京医科歯科大学	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	0名 0名 49名 49名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法およびリハビリテーション等に関連した専門的知識・技術向上を図り、都民に質の高いサービスを提供する理学療法士を育成する目的として、「自立支援」についての学術集会を実施した。 近年介護予防が注目され、理学療法士も住環境に対するより深い見識が求められている。そこで今学会ではテーマを「最小限で最大効果の住環境整備」とし、特別講演に久保田 好正先生（作業療法士、二級建築士、(株)斬新社代表等）をお招きした。講演では自立支援に必要な周辺知識の必要性および具体的に行動していくにはどのような知識が必要であるかなど、幅広い範囲で講演した。参加者からも活発な質問があり、「自立支援」おける理解が深まった有意義な学会であった。
平成27年度 第2回 区中央部・区南部・島しょブロック研修会	業務推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年2月11日	東京医科歯科大学	一般都民 理学療法士 うち都士会員	13名 29名 29名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法およびリハビリテーション等に関連した専門的知識・技術向上を図り、都民に質の高いサービスを提供する理学療法士を育成する目的として、「スポーツ分野における理学療法-オリンピック・パラリンピックに向けて-」というテーマで研修会を実施した。 講師に相澤 純也 先生（東京医科歯科大学スポーツ診療センター）、板倉 尚子 先生（日本女子体育大学 保健管理センター）をお招きし、スポーツ分野での理学療法についてご講演して頂いた。 東京オリンピックが迫る中、一理学療法士が現場レベルでできることから求められている理学療法士としての立ち位置、そして今後の具体的な活動方法を知ることができた有意義な会となった。
区西南部区西部ブロック スポーツ理学療法研修会	業務推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年3月25日	慶應義塾大学病院	理学療法士 うち都士会員	78名 2名	都士会HP 区西南部西部ブロック内施設へFAX	理学療法の知識・技術向上を目的にスポーツ選手、一般スポーツ、障害者スポーツを行っている都民に対して、効率を高めるため怪我の予防、救急対応、コーチングなど理学療法士が支援できる内容は多くあるが、都民や理学療法士の認識はまだ十分とは言えない状況がある。そのため理学療法士に対し、スポーツ支援に触れる機会を増やすことにより理学療法士の知識・技術向上を目的とした講習会を行った。当ブロックではスポーツ局と協力し、「スポーツ障害の予防」をテーマとし、この分野の第一人者である大見頼一先生をお招きし、実技演習を含め研修会を開催した。
区西北ブロック研修会①臨床研究・はじめの一步～臨床を豊かにする研究のススメ～	業務推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年7月9日	練馬区立区民・産業プラザ coconeriホール	一般都民 理学療法士 うち都士会員	0名 66名 58名	都士会HP 都士会 ニュース ご案内郵送	理学療法士の知識・技術向上の為に、臨床研究・はじめの一步～臨床を豊かにする研究のススメ～と題して豊田 和典先生（JAとりで総合医療センター リハビリテーション部技師副部長）と中村 睦美先生（赤羽中央総合病院 リハビリテーション科主任）をお招きして講演を行なった。当講演の狙いは当ブロックの若手職員への研究サポートであり、当ブロック学術集会や都士会学会への演題発表に繋げていくことを目標としている。

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

第8回 区東北部・区東部ブロック学術大会	業務推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年3月6日	首都大学東京 荒川キャンパス	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1名 2名 125名 120名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士およびリハビリテーション等に関連した専門的知識・技術向上を図り、都民に質の高いサービスを提供する理学療法士を育成する目的に首都大学東京 荒川キャンパスにて第8回区東北部・区東部ブロック 学術集会を開催した。午前中には特別講演を2演題。Ⅰでは首都大学東京大学院の藤井 宣晴先生より「骨格筋から健康が生まれる仕組み」を、Ⅱでは東京都福祉保健局より西沢 佳 氏と東京都理学療法士協会 地域ケアシステム推進委員会委員長の田代 文子先生を招き「地域包括ケアシステムの構築に向けた現状と取り組み」をご講演いただき、今後の理学療法士が地域の中で何をしたいと考えてはいるかを考えるための講演となった。 午後は、15演題の症例検討を2会場に分け、10分の発表と5分の質疑応答でゆとり時間をとり、活発なディスカッションが行えた。学術集会終了で、大会長賞として、東京臨海病院の中村 かな実先生が獲得した。今後、参加人数を増やし、参加したことが有意義ある事をさらに実感できる学術集会を目指す。
第6回 西多摩南多摩ブロック学術集会	業務推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年10月25日	東京医療学院大学	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	49名 3名 114名 100名	都士会HP 都士会 ニュース チラシの配布	理学療法及びリハビリテーション等に関連した専門知識・技術向上を図り、都民に質の高いサービスを提供する理学療法士の育成を目的に、ブロック学術大会において、特別講演にて『地域における他職種連携-地域包括ケアと栄養を中心に-』をテーマに武藤友和先生（医療法人社団和風会 多摩リハビリテーション学院 理学療法学科）を講師に招き講演頂いた。また、一般演題発表にて口述発表11演題、ポスター発表11演題が行われ、活発な意見交換が行われた。
西多摩南多摩ブロック研修会	業務推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年2月23日	法政大学 多摩 キャンパス 18 号館 スポーツ 健康学部棟 201 教室	理学療法士 うち都士会員	29名 26名	都士会HP 都士会 ニュース チラシの配布	理学療法士の知識・技術向上を図り、都民に質の高いサービスを提供する理学療法士の育成を目的に、『股関節の運動器疾患に対する徒手療法入門』をテーマに安藤正志先生（法政大学 スポーツ健康学部スポーツ健康学科 教授 医学博士 理学療法士）を講師に招き講演頂いた。実技を多く取り入れた研修会構成で、経験が浅い理学療法士にとって、実り多い研修会となった。
第2回東京都小児理学療法セミナー開催	小児福祉部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年10月3日	東京工科大学	理学療法士 うち都士会員	75名 名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の知識・技術向上のため研修会となる事を目的に開催しました。 10月3日（土）東京工科大学にて「脳性麻痺がある方に対して理学療法士ができることは — 姿勢制御システムの発達と諸問題 —」をテーマに福井県こども療育センターの辻 清張 氏を講師としてお招きして開催しました。 定員50名に対して100名以上の申し込みがあり、会場の関係で定員を80名に増やして対応し、当日は75名の参加がありました。 障がいのある子ども達の発達を踏まえて理学療法士がどのような支援をするべきか改めて考える良いセミナーとなりました。
研修会「介護保険領域における卒後教育研修会」	介護保険部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年12月20日	中野サンプラザ 研修室5	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1名 2名 50名 39名	都士会HP 都士会 ニュース 都士会主催 研修会等での ちらし配布	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、介護保険制度に関する基礎知識や実際に行われているリハビリテーションを学ぶための研修会を開催した。理学療法士や作業療法士、言語聴覚士などのリハビリテーション専門職種をはじめ、一般都民の方にも参加いただき、現行制度における各専門職種の役割や今後の展望、連携の必要性などについて、実際に介護保険領域のリハビリテーションに従事されている二名の講師による講演を受けることで、理学療法士の知識・技術の向上を図った。 講師：医療法人財団逸生会 大橋病院 ト部 義文氏 有限会社 リハビリの風 森 隼人氏

研修会「介護保険の基礎知識」	介護保険部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年1月24日	中野サンプラザ研修室3	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	7名 0名 6名 6名	都士会HP 都士会 ニュース 都士会主催 研修会等での ちらし配布	理学療法士の知識・技術向上のための研修会を目的として、介護保険制度に関する基礎知識や実際に行われているリハビリテーションを学ぶための研修会を開催した。理学療法士をはじめ、理学療法士養成校の学生など一般都民の方にも参加いただき、現行制度における各専門職種との役割や今後の展望、連携の必要性などについて、実際に介護保険領域のリハビリテーションに従事されている二名の講師による講演を受けることで、理学療法士の知識・技術の向上を図った。 講師：有限会社 リハビリの風 阿部 洋輔氏 東京総合保健福祉センター 江古田の森 林 涼氏
オリンピック・パラリンピックに関わる人材の育成事業	国際競技大会・スポーツ理学療法推進部	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年8月28日 平成28年2月20日	東京医科歯科大学 ThreeEightNineMITAKA	理学療法士 うち都士会員	148名 143名	都士会HP 国際競技大会・スポーツ理学療法推進部専用メールより連絡先登録者に告知	理学療法士の知識・技術向上を目的とし、2020年東京五輪・パラリンピック開催に向けた人材育成事業を本年度から開催した。本事業は東京五輪・パラリンピックでの選手村内に設置される総合診療所「ポリクリニック」内の理学療法室で活動する理学療法士の人材確保・育成を目的として行った。対象者としては、過去の研修会及びサポート活動に参加した理学療法士を中心に考え、その人たをレベルアップさせることでより高いサポート体制の構築が構築できると考えた。担当者による事前の打ち合わせを踏まえて、2月20日にThreeEightNineMITAKA（会場）で、講師に水石（杏林大学付属病院）、原田（社会医学技術学院）、板倉（日本女子体育大学）を迎えて開催した。参加者は44名で実施した。研修会後に担当者による今後に向けた打ち合わせも開催した。この内容は都士会ニュースにて報告した。
第35回東京都理学療法学会	次年度学術大会準備委員会	8	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年3月2日	多摩丘陵病院 他	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	5000部	都士会HP 都士会 ニュース 研修会等での チラシの 配布 ケアマネ 連絡等での チラシの 配布	理学療法及びリハビリテーション等に関連した専門知識・技術向上を図り、都民に質の高いサービスを提供する理学療法士の育成を目的に、第35回東京都理学療法学会において、中枢性神経疾患や運動器疾患に対する理学療法のみならず、精神疾患、がん、呼吸器疾患、ウィメンズヘルスケアなど幅広い分野から第1線の先生方を講師に招き、今理学療法士に求められていることについて、教育講演を8講演、hands-onSeminarを4講座行う。その開催案内のチラシを作成し、ケアマネ連絡会、都士会研修会等へ配布した。
(9) 理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に関する											
労務管理に関する研修会	ライフ・サポート部	9	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年3月13日	東京医科歯科大学医学部附属病院	その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	1名 17名 11名	都士会HP 都士会 ニュース	・理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉の向上を目的に、各施設のリハビリテーション部門のPT管理者を対象に、円滑な組織運営や職員支援を行うため労務管理等の研修会を開催した。 内容：「PTが知っておきたい就労規則～応用行動分析学を用いた職場関係におけるストレス耐性とコミュニケーションスキル～」 講師：了徳寺大学 教授 加藤宗規 先生
就労支援のための技術講習会	ライフ・サポート部	9	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年10月25日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	31名 20名	都士会HP 都士会 ニュース	・理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉の向上を目的に会員への就労支援として、基礎技術・知識や専門スキル向上のための講習会を開催した。 ①内容：運動器疾患のリスク管理 講師：田中友也（苑田会人工関節センター病院） ②内容：呼吸器疾患のリスク管理 講師：小川英臣（東京医科歯科大学医学部附属病院） ③内容：脳血管疾患のリスク管理 講師：油井麻子（自宅） ④内容：内部疾患のリスク管理 講師：江藤啓介（台東病院）

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

理学療法士の動向把握と職員支援に関する調査	ライフ・サポート部	9	36 調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成27年10月25日 平成28年3月13日	東京医科歯科大学医学部附属病院	理学療法士 うち都士会員	48名 31名	都士会HP 都士会 ニュース	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉の向上を目的に、会員の動向の把握と必要となる勤務状況・環境、職員支援に関して調査し、報告した。 ●ライフ・サポート部研修会でのアンケート実施 ・ライフ・サポート部研修会にて配布し、参加者に対して調査を実施 ・アンケート結果の今後の研修会への還元 ●大規模アンケート調査の実施 ・東京都理学療法士を中心として、ライフワークバランス等に関するアンケートを実施 ・アンケート結果の集計・考察・発表の実施(予定：平成28年度報告予定)
理学療法士への就労支援を目的とした施設見学	ライフ・サポート部	9	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年10月24日 平成27年10月30日	辻内科循環器科 歯科クリニック リハビリテーションセンター	理学療法士 うち都士会員	各日1名	都士会HP	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉の向上を目的に長中期的に離職していた理学療法士に対して、再就労するための基礎研修として、見学可能な施設の仲介を行った。 ●2名の施設見学希望者に対して、施設仲介を実施 ●見学者に向けた介護保険制度資料の作成・提供 ●来年度も継続 ●施設スタッフが案内
渉外局ホームページの運営、情報収集	渉外局	9	35 相談・助言	自主事業	主催事業	随時	東京商工会 2階ロビー 玉川病院 ホームページ上	一般都民 その他医療従事者 理学療法士 うち都士会員	不特定多数の閲覧者	都士会HP	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に資するため、都内在勤の理学療法士の現状把握や法改定も含めた診療報酬・介護報酬等に関する情報収集を行い、都民からの問い合わせに窓口を運営した。問い合わせのあった相談には本会理事が対応しホームページで情報を開示した。局内部間で連携を図り迅速に対応できる体制を整備した。ホームページで情報を開示することで会員のみならず関連他団体等との連携を強化することができる。これらにより理学療法士の質の向上が図れ、広く都民の医療、保健、福祉について貢献できたと考える。
理学療法に対する相談会	規約審議委員会	9	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成27年6月19日 平成27年7月31日 平成27年9月11日	東京衛生学園 専門学校	理学療法士 うち都士会員	各日5名 各日5名	都士会HP	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に資するため、都民を対象として理学療法に対する相談会を実施した。都民からは、健康寿命を延ばすため地域事業でもっと理学療法士に関与して欲しい等の要望が多かった。
倫理規程・厳守に関する東京都理学療法士協会会員への倫理的教育及び情報の周知(スクリーンセイバー作成)	倫理委員会	9	33 講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年6月14日	東京医科歯科大学	理学療法士 うち都士会員	50名 45名	都士会 ニュース	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に資するため、理学療法士の倫理厳守の意識を高めることを目的として東京都理学療法学会大会において、ハラスメントに関するスライドショーを作成し、理学療法士の倫理における啓蒙活動を行った。また、参加した理学療法士に対してアンケートを実施し、都内における理学療法士の倫理意識の向上に必要なことを聴取した。これらの情報はスクリーンセイバーの内容検討に生かした。
理学療法士の「倫理」問題に対する相談助言内容	倫理委員会	9	35 相談・助言	自主事業	主催事業	平成28年2月14日	帝京大学 池袋 キャンパス	理学療法士 うち都士会員	130名 名	都士会HP 都士会 ニュース	理学療法士の社会的地位の向上と相互福祉に資するため、理学療法士の倫理厳守の意識を高めることを目的として「倫理規定」に関する啓発活動を実施した。具体的には、本会主催の学会及び講習会などにおいて、学会に参加した理学療法士に周知するとともに、本会発行のニュース内に倫理厳守を啓発する内容を掲載した。

(10) 先進的な理学療法確立に資する

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

平成27年度都士会研修会 (1) マイオチューニングアプローチ	都士会研修部	10	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年5月30日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	21名 12名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	先進的な治療アプローチであるマイオチューニングアプローチ(MTA)を習得することを目的とした研修会を開催した。研修会内容としては、MTAの最新理論の講義とともに、新しい上肢、下肢、体幹に対する治療的アプローチを複数の講師により技術指導された。受講者は、2人一組になり、治療者役、患者役となり技術指導を受けた。講師は、マイオチューニングアプローチ学会会長の高田治実先生に依頼した。全国の免許取得理学療法士を対象に日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより公募を行った。
平成27年度都士会研修会 (2) 呼吸器疾患の理学療法	都士会研修部	10	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年7月4、5日	帝京科学大学 千住キャンパス	理学療法士 うち都士会員	36名 30名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	理学療法士の気管吸引が認められたこともあり、理学療法士には呼吸器の解剖・正常生理、病態生理から肺聴診、排痰技術の指導が求められる。これらの先進的な理学療法の確立のため、また先進的な理学療法の確立を目的として、最新の呼吸理学療法知識、技術導入の為の研修を行った。講師は、「3学会(日本胸部外科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔科学会)合同呼吸療法認定士」も取得している慶應義塾大学医学部附属病院リハビリテーション部の深井和良先生に依頼した。全国の免許取得理学療法士を対象に日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより公募を行った。
平成27年度都士会研修会 (3) 心疾患の理学療法	都士会研修部	10	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年9月12、13日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	32名 22名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	先進的な理学療法の確立を目的として、先進的な心疾患に対する理学療法についての研修会を開催した。この分野における第一人者である高橋哲也先生(東京工科大学理学療法学科教授)に講師を依頼し基本的ではあるが、最新の研究成果を踏まえた講義・研修をおこなっていただいた。全国の免許取得理学療法士を対象に日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより公募を行った。
平成27年度都士会研修会 (4) タッチング：ふれあい	都士会研修部	10	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成27年10月11、12日	臨床福祉専門学校	理学療法士 うち都士会員	14名 8名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	先進的な理学療法の確立を目的に、今回は、講師の山中先生に中枢神経系とくに脳性麻痺や脳卒中患者に対するタッチング(触れる)の仕方を最新の神経生理学的あるいは、認知領域の最新の脳科学の知見に基づいてプログラムを組んでいただいた。最近の脳科学分野の進歩は、顕著であり、その知識を取り込んだ治療手段も日々進化している。今回の講師の山中善詞先生は、脳性麻痺や脳卒中患者の治療で30年前から中心的存在である大阪のボバース記念病院で科長、副部長を歴任した経験豊かな理学療法士である。山中先生は、ボバース法のみならず、その都度他の最新の知識を取り入れ独自の治療法を確立してこられている。今回も、脳科学の最新の研究成果を随所に織り込みながら、患者治療の基本であるタッチングについてわかりやすく説明していただいた。全国の免許取得理学療法士を対象に日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより公募を行った。

(公社)東京都理学療法士協会 平成27年度事業報告

〈定款別〉

平成27年度都士会研修会 (5) 成人片麻痺の評価と治療	都士会研修部	10	33講座、セミナー、育成	自主事業	主催事業	平成28年1月30、31日	順天堂大学医学部附属順天堂医院	理学療法士 うち都士会員	32名 29名	都士会HP 都士会 ニュース 日本理学療法士協会HP	脳卒中後の片麻痺に対する評価と治療を理学療法士の中核性疾患に対する治療法として有力なBobath法を基に講義と実技研修を行った。Bobath法自体は、1960年代から70年代に開発された理学療法分野では比較的古い治療法であるが、この治療法は年々新たな治療技術を取り入れて常に最新のコンセプトを構築している。したがって、毎年その治療技術、知識は進歩している。この研修会は、この先進的な理学療法に資するものと考えられ、先進的な理学療法の確立を目的に開催した。講師は、関東甲信越地域では、有名な曾根政富氏 (Basic Course Instructor、順天堂江東高齢者医療センター理学療法士)、大槻暁氏 (順天堂練馬病院理学療法士)、塚田直樹氏 (順天堂東京江東高齢者医療センター理学療法士)、保苺吉秀氏 (順天堂大学医学部附属順天堂医院) の4名の先生方に来ていただいた。全国の免許取得理学療法士を対象に日本理学療法士協会HPと東京都理学療法士協会HPおよび東京都理学療法士協会ニュースにより公募を行った。
韓国ソウル市理学療法士協会より講師招聘の講習会	渉外局	10	33講座、セミナー、育成	自主事業	共催事業	平成27年6月14日	医科歯科大学	理学療法士 うち都士会員	850名 640名	都士会HP 都士会 ニュース	本講演会目的は予防に対する先進的な理学療法の確立である。テーマは韓国で行われている予防理学療法について予防理学療法に先駆的に取り組まれている方にお話し、講演頂いた。産業理学療法に属する就労世代の健康予防について、韓国での先進的な取り組みをお話いただいた。一般演題ではECOMという人工肺を使った先進的医療の中での理学療法と先端医療を生ぶことができた。
韓国、ソウル市、の理学療法に関する調査	渉外局	10	36調査・資料収集	自主事業	主催事業	平成28年3月19～21日	COEXホテル ソウルカンナム COEX サムソン病院	理学療法士 うち都士会員	10～20名 各日3名	都士会 ニュース 理学療法東京	先進的な理学療法の確立に資することを目的として、今回はサーズなどで初期対応で世界的に有名になったソウルサムソン病院にて調査資料収集を行った。その中でも、セキュリティ、アメニティとも優れ、ロボット、水治療法、各種先端機器を用いた理学療法は目を見張るものがあった。KIMETという、アジア全域の医療機器展に参加し、身近な電子機器を応用し、普及させることを目的とした医療機器に関する情報収集を行った。この調査報告はニュースなどに掲載し広く情報提供した。